

一般社団法人 鳥取県作業療法士会

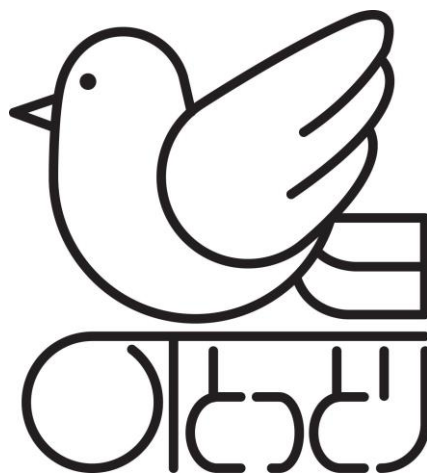
平成30年度 定時社員総会

議 案 書

期日：平成30年5月20日（日） 9：30～10：30

会場：地域交流センター アゼリアホール

（倉吉市山根43 TEL0858-26-1012）



一般社団法人 鳥取県作業療法士会

事務局

〒683-0841 鳥取県米子市上後藤3-5-1

養和病院リハビリテーション課内

TEL 0859-29-5351

FAX 0859-29-7179

総 会 次 第

1. 開会のことば
2. 議 長 選 出
3. 会 長 挨 拶
4. 定 足 数 報 告
5. 書 記 任 命
6. 決 議 事 項
 - 第 1 号議案 役員選任について
 - 第 2 号議案 平成 2 9 年度事業報告書承認の件
 - 第 3 号議案 平成 2 9 年度決算報告書承認及び監査報告の件
 - 第 4 号議案 その他
7. 報 告 事 項 平成 3 0 年度事業計画及び予算
8. そ の 他
9. 議 長 解 任
- 1 0. 閉会のことば

目 次	
総 会 次 第	1
決 議 事 項	第 1 号役員選任について 2
	第 2 号議案 平成 2 9 年度事業報告承認の件 2
	事務局 2
	渉外部 3
	広報部 3
	事業部 5
	学術部 5
	教育部 7
	領域対策部 8
	財務部 9
	規約委員会 9
	倫理委員会 9
	総会議事運営委員会 9
	選挙管理委員会 1 0
	生活行為向上マネジメント委員会 1 0
	地域包括ケアシステム対策委員会 1 1
	認知症対策委員会 1 2
	その他 1 4
	第 3 号議案 平成 2 9 年度決算報告書承認及び監査報告の件 1 5
	財産目録 1 5
	貸借対照表 1 5
	平成 2 9 年度決算書 1 6
	正味財産増減計算書 2 3
	監査報告書 2 4
	第 4 号議案 その他 2 5
報 告 事 項	平成 3 0 年度事業計画及び予算
	事務局 2 6
	渉外部 2 7
	広報部 2 7
	事業部 2 7
	学術部 2 8
	教育部 2 8
	領域対策部 3 0
	財務部 3 0
	規約委員会 3 0
	倫理委員会 3 2
	総会議事運営委員会 3 3
	選挙管理委員会 3 3
	生活行為向上マネジメント委員会 3 3
	地域包括ケアシステム対策委員会 3 3
	認知症対策委員会 3 4
	平成 3 0 年度予算書 3 6
県士会組織図	県士会組織図 4 0

第1号議案 役員選任

第2号議案 平成29年度 事業報告書承認の件

平成29年度 事業報告

◎ 事務局

1. 本部事務局

(1) 会議の開催

会 議 名		期 日	会 場
定 期 総 会		平成29年 5月21日(日)	アゼリアホール
理 事 会	第1回	平成29年 4月29日(土)	ル・ソラリオン名和
	第2回	平成29年 7月 8日(土)	養和病院
	第3回	平成29年 9月30日(土)	養和病院
	第4回	平成29年 11月 4日(土)	養和病院
	第5回	平成30年 1月20日(土)	養和病院
	第6回	平成30年 3月10日(土)	養和病院

(2) 会員管理事務

① 会員の入退会管理(平成30年3月 日現在)

会 員 数					異 動 届			
名					件			
一 般	自 宅	休 会	入 会	退 会	勤 務 先 変 更	転 出	転 入	ア ド レ ス 変 更
499名	13名	3名	32名	14名	32件	11件	3件	22件

② その他

(3) 文書処理

	総 数	会 員	OT協会	他士会	鳥取県	鳥取県社協	その他
文 書 受 取・保管	231件	4件	18件	108件	17件	15件	69件

(4) 作業療法士に関係する全国組織との連携

① 日本作業療法士協会

i. 定時社員総会: 5月27日(土) 東京 鳥取県代議員: 松本 太蔵、段 敬史、田住 秀之

ii. 47都道府県委員会 年3回

第1回 4月22・23日 東京 会長: 松本太蔵 副会長: 段 敬史

第2回 7月 1・2日 東京 会長: 松本太蔵 副会長: 段 敬史

第3回 平成30年 1月27・28日 東京 会長: 松本 太蔵 副会長: 段 敬史

iii. 会員情報システム管理

iv. 日本作業療法士協会の現況調査入力

v. 日本作業療法士会のアンケート回答

vi. その他

運転と作業療法委員会 都道府県士会協力者研修会 7月15日 岩崎 大輔(養和病院)

(5) その他

① 会長外部対応

i. 第18回日本言語聴覚学会 懇親会 来賓 6月23日

ii. 公衆衛生従事者意見交換会 7月6日

iii. 西部歯科医師会地域包括ケア研修会・意見交換会 8月5・6日

② 熊本地震に際しての義援金

28年度一年を通して皆様より集めました募金を熊本作業療法士会と日本赤十字社鳥取県支部へ13,101ずつ送金。会長内田様、日本赤十字社より謝礼文頂く

2. 東部支部

- (1) 東部地区の会員管理事務
- (2) 封筒作成：封筒作成：角 2 号 1,500 枚
3. 中部支部
 - (1) 中部地区の会員管理事務
 - (2) 全域の会員管理事務
 - ① 全域の入退会管理、名簿作成、地区電子メール連絡網更新し、本部事務局へ提出
 - ② 会員情報システム管理
- 平成 29 年度士会接続システム講習会 事務局長：山下 大輔 局員：西村 純一（清水病院）
4. 西部事務局
 - 西部地区の会員管理事務

◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡・調整に関わること
 - (1) 鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整
 - ① 平成 29 年度介護専門職研修事業 研修企画会議出席
平成 29 年 10 月 6 日（金）、平成 30 年 3 月 12 日（月） 中島 直（尾崎病院）
 - ② 介護専門職研修 講師 調整
「高齢者と楽しむレクリエーション」
平成 29 年 10 月 5 日（木）於：淀江文化センター 加藤 敦美（サンライズ名和）
平成 30 年 1 月 24 日（水）於：アゼリアホール 山根 七恵（倉吉病院）
 - (2) 特別支援教育への協力
 - ① 会員、学校との連絡調整、実施集計
 - i 中之郷小学校 1 回 土肥繁樹（鳥取市医療看護専門学校）
 - ii 河北小学校 2 回 浦安小学校 2 回 灘手小学校 2 回
白鳳高校 2 回 鳥取聾学校 2 回 来間 寿史（株式会社つむぎ）
 - iii 鳥取市 LD 等専門員・通級指導教室教諭研修会 平成 29 年 11 月 2 日（木）
講師 来間 寿史（株式会社つむぎ）
 - ② 県、市町村教育委員会との協力連携調整
県教育委員会訪問 平成 30 年 3 月 14 日（水） 谷口 弘（総合療育センター）
 - ③ 特別支援教育での実践に関する意見交換会
平成 29 年 7 月 22 日（土） 於：広島大学保健医学部 門脇 達也（養和病院）
 - (3) 鳥取県国民医療推進協議会総会 平成 29 年 12 月 5 日（火）坂本 一郎（さとに田園クリニック）
 - (4) YMCA 米子医療福祉専門学校 入学式 平成 29 年 4 月 3 日（月）松本 太蔵（養和病院）
卒業式 平成 30 年 3 月 9 日（金）永見 忠志（皆生温泉病院）
 - (5) 若草学園通園児への助言、指導
平成 29 年 5 月 17 日（水）、6 月 13 日（火）、7 月 10 日（月）、8 月 30 日（水）、9 月 20 日（水）、
10 月 24 日（火）、11 月 22 日（水）、12 月 13 日（水）
平成 30 年 1 月 24 日（水）、2 月 21 日（水）
来間 寿史、金平 桜、亀田 志保（株式会社つむぎ）、坂本 一郎（さとに田園クリニック）
上川 直人（鹿野温泉病院）、荒子 恵理（鳥取療育園）
 - (6) その他関係機関との協力・連携・調整、及び依頼事業への対応
外部協力調査 平成 30 年 1～2 月実施

◎ 広報部

1. 士会ニュース発行（年 4 回）

発行号数	担当施設名
95 号（ 6 月発行 ）	鳥取大学医学部附属病院
96 号（ 8 月発行 ）	鹿野温泉病院
97 号（ 11 月発行 ）	野島病院
98 号（ 2 月発行 ）	皆生温泉病院

2. 広報資料の取り寄せ（日本作業療法士協会より）

ポスター	150 部
オペラ 21 号	300 部

3. 学校への啓発・広報活動

(1) 資料配布

① 高校への配布

配布先	実施時期	配 布 内 容
各高校	7 月	施設見学案内、ポスター等

② 委員会・小学校・中学校・特別支援学校への配布（特別支援教育関係）

配布先	配布数	配布内容
教育委員会	24 件	パンフレット、リーフレット
小学校	131 件	
中学校	61 件	
特別支援学校	11 件	
合計	227 件	

(2) 施設見学（東部、中部、西部の各地区の承諾施設で実施） 7～8 月

	実 施 日	人 数	受け入れ施設名
東 部	8 月 2 日	1 名	さとに通所リハビリテーション（坂本 一郎）
中 部	無し	0 名	野島病院（河田 修）
西 部	7 月 27 日	12 名	鳥取大学医学部附属病院（田村 理恵）
	7 月 28 日	6 名	鳥取大学医学部附属病院（田村 理恵）
合 計		19 名	

4. 一般への啓発・広報活動

(1) 作業療法推進キャンペーン活動開催

①主催：一般社団法人 鳥取県作業療法士会

②期日：平成 29 年 10 月 22 日（日） 9：30～13：00

③会場：ふれあい会館『第 14 回鳥取県作業療法学会』

④内容

- i. 自助具作りー自助具ってなあに？おゆまるで簡単自助具作り
- ii. 相談するーリハビリについて、進路について、福祉用具について
- iii. オリジナルグッズプレゼントーアケル君

⑥来場者：30 名

⑦担当者

統括	勝部 智子 （ 倉吉病院 ）
実行委員長	山本 由貴子 （ 鳥取生協病院 ）
体験担当	田村 理恵 （ 鳥取大学医学部附属病院 ）
広報担当	福田 和子 （ 鹿野温泉病院 ）

⑧協力者：7 名

福田 和子、植田 里奈（鹿野温泉病院）、田村 理恵（鳥取大学医学部附属病院）

山本 由貴子（鳥取生協病院）、河田 修（野島病院）、谷田 涼香、勝部 智子（倉吉病院）

5. 作業療法推進月間（8 月）

(1) ポスターの配布

県内の OT 在籍施設、市町村役場、OT が不在籍の病院・老健

(2) オペラ 21 号の配布

県内の OT 不在籍の病院・老健

6. ホームページ管理・更新

新規掲載記事 188 件

7. 日本作業療法士協会との連携

Web 会議：実務なし

8. その他

◎ 事業部

1. 訪問地域リーダー会議

- (1) 期日：平成 29 年 5 月 19 日（金）、20 日（土）
- (2) 会場：東京都江東区 タイム 24 ビル
- (3) 出席者：山下 大輔（養和病院）

2. 鳥取県作業療法士会総会後研修会

- (1) 期日：平成 29 年 5 月 21 日（日）
- (2) 会場：地域交流センター アゼリアホール（倉吉市山根 43）
- (3) 内容：講演「鳥取県作業療法士会の今後」～これからの展開～
講師：松本 太蔵 氏（一般社団法人鳥取県作業療法士会 会長）

3. 中国地区作業療法士会リーダー養成研修会

- (1) 期日：平成 29 年 11 月 18 日（土）、19 日（日）
- (2) 会場：養和病院リハビリテーションセンター 4 階 地域交流ホール
- (3) 内容

①クローズ研修会（11 月 18 日）

- i. 各士会の現状報告
- ii. グループワーク
- iii. 連絡調整会議
- iv. 懇親会

②オープン研修会（11 月 19 日）

講演：「地域包括ケアシステムと人材育成」
～自治体と協働し、士会の組織力を上げるしくみ～

講師：岩佐 英志 氏 一般社団法人徳島県作業療法士会 会長

(4) 参加者：【両日参加】

松本 太蔵、山下 大輔、門脇 達也（養和病院）、勝部 智子（倉吉病院）、段 敬史（サンライズ名和）、足立 直也（博愛病院）、永見 忠志（皆生温泉病院）、池本 真一（三喜苑）

【1 日参加】

鳥取県士会員 22 名

実行委員 宮崎 篤（済生会境港総合病院）、西尾 徹（サンライズ名和）
西村 純一（清水病院）

4. 訪問リハビリテーション実務者研修会

- (1) 期日：平成 30 年 2 月 24 日（土）、25 日（日）
- (2) 会場：養和病院リハビリテーションセンター4 階 地域交流ホール
- (3) 内容：「社会資源としてセラピストに求められるものは何か」

◎学術部

1. 第 14 回鳥取県作業療法学会

- (1) 会期：平成 29 年 10 月 22 日（日）
- (2) 会場：県民ふれあい会館養和病院 地域交流ホール
- (3) 主題：「原点回帰 ～一緒にワクワク、一緒にやろう～」
- (4) 内容：

①一般公開講座

講師：野村 真波さん（看護師・パラリンピック水泳日本代表・バイオリニスト）
「あきらめない心 ～右腕との別れと作業療法との出会い～」

②学術集会 I（口述演題）、学術集会 II（ポスター演題）

- (5) 参加者：参加者：266 名（会員 158 名、県外作業療法士 1 名、一般 107 名）

(6) 県学会実行委員会

①役割

- i 学会長 大淵 賢一（鳥取赤十字病院）
- ii 実行委員長 岡田 直子（尾崎病院）
- iii 副実行委員長 村上 聡（まさたみの郷）

- iv 広報 下石 勝哉（鳥取生協病院）
- v 会場・機器 川下 洋範（いなば幸朋苑）
- vi 学会誌プログラム 衣笠 真理恵（鳥取県立中央病院）
- vii 演題 今奥 さおり（ウエルフェア北園渡辺病院）
- viii 会計 廣田 貴紀（デイサービスつむぎ）
田中 圭介（デイサービスつむぎ）
- ix その他
- 特別講演 土肥 繁樹（鳥取市医療看護専門学校）
- 協力理事 原田 信吾（デイサービスつむぎ）
坂本 一郎（さとに田園クリニック）
- 講師対応 土肥 繁樹（鳥取市医療看護専門学校）
- 学術部 門脇 達也（養和病院）
- ②当日スタッフ
- i 司会 村上 聡（まさたみの郷）
- ii 受付 山本 台次（鳥取市立病院）
橋本 秀次（鳥取医療センター）
佐藤 愛美香、澤田 真紀（ウエルフェア北園渡辺病院）
岡田 圭祐（ル・サンテリオン鹿野）
山本 亜紀、中江 愛、濱田 真希（さとに田園クリニック）
- iii 会場 澤田 暢子、橋本 明里、服部 友梨（渡辺病院）
稲田 拓也（いなば幸朋苑）
- iv 駐車場 横尾 和也、石丸 雅崇、木原 晏（渡辺病院）
井上 美奈子、西村 佑子、森田 知花、尾崎 彩（鳥取生協病院）
- v 接待 橋本 梢、江口 菜実（尾崎病院）
- ③査読委員会
門脇 達也、渡部 幸博（養和病院）、池淵 歓斗（米子病院）、土谷 達也、宮脇 淳（米子東病院）
松本 周三、中村 貴紀（三朝温泉病院）
- ④委員会開催
- 【実行委員会】
- 第1回 県学会実行員会 平成29年 4月 13日（木）
- 第2回 県学会実行員会 平成29年 5月 11日（木）
- 第3回 県学会実行員会 平成29年 6月 8日（木）
- 第4回 県学会実行員会 平成29年 6月 29日（木）
- 第5回 県学会実行員会 平成29年 7月 13日（木）
- 第6回 県学会実行員会 平成29年 8月 3日（木）
- 第7回 県学会実行員会 平成29年 9月 7日（木）
- 第8回 県学会実行員会 平成29年 10月 5日（木）
- 第9回 県学会実行員会 平成29年 11月 22日（水） 反省会
- 【査読委員会】
- 第1回 査読委員会 平成29年 9月 20日（水）
- 第2回 査読委員会 平成29年 10月 22日（日）
- 第3回 査読委員会 平成30年 2月 10日（土）

2.

(テーマ別) 勉強会実施地区	テーマ名	登録者数 ／(前年度数)	開催回数	補助金支給額
東部	全般	74 名／(80 名)	3 回	0 円
中部	中部合同	36 名／(39 名)	5 回	0 円
	精神科	14 名／(14 名)	3 回	0 円
西部	作業を考える	24 名／(29 名)	4 回	0 円
	CVA	34 名／(34 名)	6 回	0 円

	福祉機器・ 住環境	28 名／(27 名)	5 回	0 円
	精神科	30 名／(32 名)	6 回	0 円
	治療演習	12 名／(10 名)	0 回	0 円
総計	—	252 名／(265 名)	32 回	0 円

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

(1) ホームページ「生涯教育制度について」更新 なし

(2) 生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新

県士会名簿更新時、基礎研修開催時、事務局からの連絡時等に随時実行. 認定 OT 8 名、基礎研修修了者 39 名

(3) 基礎研修ポイント管理・発行

①協会よりポイントシール受領・返却 4.15 返却 334P、H29 分申請・受領 1800P

②士会裁量基礎研修ポイント集計・発行 3.31 1P 94 名、2P 51 名

③現職者共通研修修了ポイント発行 6 件 120P

④現職者選択研修会ポイント発行 47 名 94P

⑤鳥取県作業療法学会ポイント発行 10.22 参加 164、発表 16 計 180 名 360P

⑥基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行

5.21 総会後研修会 103 名 206P

8.26 第 7 回認知症研修会 70 名 140P

10. 8 第 1 回 MTDLP 基礎研修会 32 名 64P

10. 8 第 1 回 MTDLP 実践者研修会 13 名 26P

11.26 第 4 回中国ブロック生活行為向上マネジメント研修会 i n 広島 107 名 214P

12.24 第 8 回認知症研修会 58 名 116P

1.21 地域包括ケア西部地区研修会 17 名 34P

2.17 第 2 回 MTDLP 基礎研修会 7 名 14P

2.17 第 2 回 MTDLP 実践者研修会 8 名 16P

2 月 18 日 地域包括ケア東中部研修会 23 名 46P

2 月 24・25 日 第 8 回鳥取県訪問リハ実務者研修会・在宅リハ研修会 10 名 38P

3 月 3 日 第 3 回 MTDLP 研修会 20 名 40P

3 月 4 日 地域包括ケアシステム大研修会 29 名 58P

3 月 11 日 第 9 回 認知症研修会 53 名 106P

⑦基礎研修ポイント申請の受付・発行 14 件 32P

2. 生涯教育制度に関する開催

(1) 現職者共通研修会

期日と会場	区分	テーマ	講師	認定数
①前期 7 月 30 日(日) 会場：西部 YMCA 米子	I	作業療法生涯教育概論	花倉 敏文：養和病院	25
		職業倫理	長田 貴徳：尾崎病院	25
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長谷川 徹：はまなす	24
		作業療法における協業・後輩育成	田住 秀之：YMCA 米子	23
②後期 10 月 29 日(日) 会場：東中部 鳥取医療センター	II	①6. 作業療法の可能性	早川 泰詞：山陰労災病院	15
		②8. 事例報告と事例研究	高梨 悠一：YMCA 米子	16
	IV	①7. 日本と世界の作業療法の動向	佐野 積：大山リハ病院	14
		②5. 実践のための作業療法研究	松本 太蔵：養和病院	14

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

(1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定

地区	テーマ名	件数 (前年度)	認定者数（前年度）	
			事例報告	事例検討
東部	全 般	1(1)	2	2
中部	中部合同	0(1)	0	0
	精 神 科	0(0)	0	0
西部	作業を考える	0(0)	0	0
	C V A	1(3)	1	2
	社会資源	0(0)	0	0
	治療演習 ADL 分析	0(0)	0	0
	精 神 科	0(1)	0	0
計		2(6)	3(9)	4(14)

(2) 基礎研修会認定 なし

(3) SIG 等登録認定 なし

4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

(1) 生涯教育制度推進委員会への出席：11 月 11（土）、12 日（日）

東京文具共和会館 花倉 敏文

①生涯教育制度改定 2018 について情報を得た。

(2) 生涯教育受講登録システムへの登録 {1. (3) ⑥と重ならないもの}

① 7.30 前期現職者共通研修会

②10.29 後期現職者共通研修

③10.06 事例報告会

④10.24 事例報告会

⑤ 1.27 現職者選択研修会

5. 会員への情報伝達

(1) 県士会ニュースへの掲載

①前期現職者共通研修会（Ⅰ・Ⅲ）のご案内

②後期現職者共通研修会（Ⅱ・Ⅳ）のご案内

③生涯教育制度改定 2018 の概要

(2) ホームページへの掲載

①前期現職者共通研修会（Ⅰ・Ⅲ）のご案内

②後期現職者共通研修会（Ⅱ・Ⅳ）のご案内

その他 「生涯教育制度について」の説明 5.21 定時社員総会後に実施

6. 他部との連携・協力

(1) 学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、鳥取県作業療法学会、ポイント発行など

(2) 事業部：各種研修会ポイント発行など

(3) 領域対策部：現職者選択研修会など

(4) 事務局：会員管理事務など

(5) 特設委員会：認知症研修会ポイント発行など

◎ 領域対策部

1. 現職者選択研修（身体障害領域）

(1) 期日：平成 30 年 1 月 27 日（土） 9：20～16：30

(2) 会場：鳥取県立福祉人材研修センター

(3) 内容：

テーマ 1：神経・筋・内部障害 (癌、呼吸器・循環器、膠原病)	梅津 清司郎：YMCA 米子医療福祉専門学校
テーマ 2：筋骨格系・外傷	高梨 悠一：YMCA 米子医療福祉専門学校
テーマ 3：身体障害作業療法の基礎知識	吉川 ひろみ：日本作業療法士協会
テーマ 4：脳血管障害	吉川 ひろみ：日本作業療法士協会

- (4)参加者：43 名（県内 42 名 県外 1 名）
- (5)委員：坂本 一郎（さとに田園クリニック）
下田 知慧（にしまち幸朋苑）
磯江 慎吾（鳥取医療センター）
前谷 達也（さとに田園クリニック）
寺坂 恵梨（尾崎病院）
衣笠 真理恵（中央病院）
平木 久美子（ウェルフェア北園渡辺病院）

2. 情報配信

- (1)配信回数 49 件（平成 29 年 4 月 ～ 平成 30 年 3 月 31 日）

◎ 財務部

1. 会費徴収について

- (1)会費徴収（平成 30 年 1 月現在）

- ①会員数：501 名（内、休会中 3 名、納入後の退会者は含まず）
- ②会費納入者数：491 名（他県士会での納入、納入後の転出者含む）
- ③会費未納者数：12 名（休会中 3 名含む）
- ④徴収率：98%

- (2)未納者への督促

- ①ホームページや県士会ニュースへ未納者の会員番号（OT 協会）を掲載
- ②平成 29 年 12 月に会費未納者に対して督促状と振込用紙の送付を実施

2. ボランティア保険加入手続き

136 名の加入手続きを行った

3. 予算事務に関する特記事項

- (1)については計上した予算は決算書の通り執行した

◎ 規約委員会

1. 規約委員会開催

- (1)期日：平成 29 年 9 月 30 日、平成 30 年 1 月 20 日
- (2)内容：費用弁償規定及び出張旅費規程（県内出張業務に対する日当について）
費用弁償規程（県内移動時の交通費について）

◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演

- (1)期日：平成 29 年 7 月 30 日（日）11:10～12:40
- (2)会場：YMCA 米子医療福祉専門学校
- (3)講師：長田 貴徳氏（尾崎病院）

2. 相談への対応

- (1)相談件数：0 件

3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

- (1)一般社団法人日本作業療法士協会倫理委員会への報告はなし

◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書・議事録の作成

2. 定時社員総会の開催

- (1)期日：平成 29 年 5 月 21 日（日）9:30～10:30
- (2)会場：地域交流センター アゼリアホール（倉吉市山根 43）
- (3)内容：平成 28 年度事業報告書承認
平成 28 年度事決算報告書承認及び監査報告
平成 29 年度事業計画及び予算
議長 池淵 歓斗（米子病院）

書記 小山 雅之（錦海リハビリテーション病院）

長谷川 泰久（鳥取大学医学部付属病院）

(4)参加者：総会出席者 103 名 委任状 265 名 計 368 名 （総社員数 488 名）

◎ 選挙管理委員会

1. 選挙委員会開催

(1)期日：平成 29 年 9 月 30 日、11 月 4 日、平成 30 年 3 月 10 日（予定）

(2)内容：運営状況の反省と見直し・選挙管理委員改選・運営マニュアルの作成

◎ 生活行為向上マネジメント委員会

1. 平成 29 年度鳥取県地域医療介護総合確保基金

介護予防の推進に資する OT, PT, ST 指導者育成事業、
生活行為向上マネジメント啓発事業

補助金合計：¥853,000

2. 全県委員会開催

第 1 回：平成 29 年 5 月 21 日 第 2 回：平成 29 年 7 月 29 日 第 3 回：平成 29 年 10 月 28 日

第 4 回：平成 29 年 12 月 23 日 第 5 回：平成 30 年 2 月 17 日

3. 地区別委員会

東部 2 回、中部 1 回 西部 1 回

4. 全国会議

第 7 回生活行為向上マネジメント全国推進会議

期 日：平成 29 年 6 月 10 日（土）～ 6 月 11 日（日）

場 所：東京駅日本橋カンファレンスセンター ホール 2A

参加者：土井 宣幸（老健はまかぜ）、松本 周三（三朝温泉病院）、清水 里江子（尾崎病院）

内 容：適切な事例報告につながる書き方研修等

平成 30 年度以降の MTDLP 推進についての説明。

(1) 県外研修会

①第 4 回生活行為向上マネジメント中国ブロック合同研修会

日時：平成 29 年 11 月 26 日（日）

場所：広島国保会館

講師：楠原 敦子氏（高松医療センター）、柴田 八衣子氏（兵庫県立リハセンター）

塩田 繁人氏（広島大学病院）、土井 宣幸（老健はまかぜ）

内容：作業療法インテーク、MTDLP 事例報告の書き方、

MTDLP 申し送り表、精神科領域 MTDLP、臨床実習 MTDLP

スタッフ派遣：松本 周三、高平 洋和（皆生温泉病院）、土井 宣幸

(2) 県内研修会

①平成 29 年度 第 1 回 MTDLP 研修会

日 時：平成 29 年 10 月 8 日（日） 基礎研修 9：00～16：20 実践者研修 9：00～12：10

場 所：アゼリアホール（倉吉市）

参加者：基礎研修参加者：32 名 実践者研修参加者：17 名（実践者 7 名、聴講 6 名、書き方 4 名）

②平成 29 年度 第 2 回 MTDLP 研修会

日 時：平成 30 年 2 月 17 日（土） 基礎研修 9：00～16：20 実践者研修 9：00～12：10

場 所：アゼリアホール（倉吉市）

参加者：基礎研修参加者：12 名 実践者研修参加者：9 名

③平成 29 年度 第 3 回 MTDLP 研修会（大研修会）

日 時：平成 30 年 3 月 3 日（土） 10：00～15：15

場 所：アゼリアホール（倉吉市）

参加者：参加者 28 名（内 PT4 名、ケアマネ 1 名）

5. 生活行為向上マネジメント研修制度履修状況（平成 29 年 11 月 17 日現在）

(1)基礎研修修了者：292 名（58.4%） 協会目標値 60%

(2)実践研修修了者：89 名（17.8%） 協会目標値 30%

(3)指導者 : 1名 (0.2%) 協会目標値 5%

◎ 地域包括ケアシステム対策委員会

1. 研修会開催

(1)地域包括ケアシステム地区別研修会 (2回)

テーマ: 地域包括ケアシステム人材育成

【東中部研修会】

①開催日: 平成30年 1月 21日 (日)

②会場: 鳥取県民体育館

③講師: 鳥取県作業療法士会 地域ケアシステム対策委員 永見 忠志 (皆生温泉病院)
原田 伸吾 (デイサービスつむぎ)
村瀬 良知 (済生会境港総合病院)

④参加者: 23名

【西部地区研修会】

①開催日: 平成30年 1月 18日 (日)

②会場: 米子東病院 2階 研修室

③講師: 鳥取県作業療法士会 地域ケアシステム対策委員 永見 忠志、原田 伸吾

④参加者: 17名

(2)指導者育成研修 (1回)

①開催日: 平成30年 1月 28日 (日)

②会場: 鳥取未来中心 セミナールーム7

③講師: 鳥取県作業療法士会 地域ケアシステム対策委員 永見 忠志

④参加者: 26名

(3)地域包括ケアシステム大研修会 (1回)

①開催日: 平成30年 3月 4日 (日)

②会場: 米子東病院 2階 研修室

③内容: OTが地域包括ケアシステムの中で活躍するために～他職種が持つ視点を知る～

講演1「鳥取県の高齢者を取り巻く状況」

講師 梶川 智子 氏 (鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長
寿社会課介護サービス事業・施設担当 課長補佐)

「鳥取県地域医療構想の推進について」

講師 沖村 昌治 氏 (鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課 係長)

講演2「元気で楽しい生活を送る為に～栄養・食事面からの関わり～」

講師 佐藤 一美 氏 (医療法人 真誠会 栄養課 管理栄養士)

講演3「未定」

講師 足立 融 氏 (ワイエイデンタルクリニック 歯科医師)

グループワーク

④参加者: 会員 29名

2. 委員会開催

(1)地域包括ケアシステム対策委員会・生活行為向上マネジメント特設委員会

認知症対策特設委員会合同委員会

第1回: 平成29年 4月 19日

第2回: 平成29年 4月 25日

第3回: 平成29年 6月 28日

第4回: 平成29年 12月 8日

第5回: 平成30年 2月 8日

(2)東部委員会東部地域包括ケアシステム対策委員会

第1回: 平成29年 6月 21日

第2回: 平成29年 7月 20日

第3回: 平成29年 8月 24日

第4回: 平成29年 10月 16日

第5回: 平成29年 11月 13日

第6回: 平成29年 12月 6日

第7回: 平成30年 1月 15日

(3)中部委員会

第1回: 平成29年 11月 13日

第2回: 平成30年 1月 15日

(4) 西部委員会

第1回：平成29年 5月 17日 第2回：平成29年 6月 21日
第3回：平成29年 7月 19日 第4回：平成29年 8月 22日
第5回：平成29年 9月 20日 第6回：平成29年 10月 18日
第7回：平成29年 11月 15日 第8回：平成29年 12月 12日
第9回：平成30年 1月 16日 第10回：平成30年 2月 15日

3. 地区別研修会・会議出席（出席者：原田 伸吾、佐野 和代）

(1) 平成29年度 東部地区在宅医療介護連携推進協議会 多職種研修ワーキンググループ

第1回：平成29年 4月 13日 第2回：平成29年 5月 11日
第3回：平成29年 6月 8日 第4回：平成29年 7月 13日
第5回：平成29年 8月 10日 第6回：平成29年 9月 14日
第7回：平成29年 10月 12日 第8回：平成29年 11月 9日
第9回：平成30年 1月 11日

(2) 地域包括ケア専門職“絆”研修～仲間同士、知る・つながる・高め合う～

（出席者：原田 伸吾、佐野 和代）

第1回：平成29年 4月 23日「病院から在宅へ（退院支援）」
第2回：平成29年 7月 2日「在宅療養中（生活支援）」
第3回：平成29年 10月 15日「看取りの時期（終末期の支援）」
第4回：平成30年 1月 21日「病院から在宅へ（退院支援）」

(3) 鳥取市地域リハビリテーション推進会議（出席者：原田 伸吾、佐野 和代）

第1回：平成29年 8月 24日 第2回：平成30年 2月 9日

(4) 各地区地域医療構想会議出席

出席者：東部 長田 貴徳（平成29年 9月 20日、平成30年 3月 8日）
 中部 池本 真一（平成29年 10月 10日）
 西部 永見 忠志（平成29年 8月 25日、平成29年 10月 17日）

4. 協力委員メンバー

全体責任者：永見 忠志（皆生温泉病院）

東部委員：原田 伸吾（デイサービスつむぎ）、長田 貴徳（尾崎病院）

田村 樹（すこやか）、下石 勝哉（鳥取生協病院）

大淵 賢一（鳥取赤十字病院）、村上 聡（まさたみの郷）

川下 洋範（いなば幸朋苑）、佐野 和代（にしまち幸朋苑）

土肥 繁樹（鳥取市医療看護専門学校）

中部委員：西村 純一（清水病院）、小南 哲（野島病院）、

三浦 純（三朝温泉病院）、宇田川 亮子（老健のじま）、

幸田 真（藤井政雄記念病院）、福井 由香里（ル・サンテリオン東郷）

西部委員：小椋 善文（米子市役所）、横野 洋子（仁風荘）、

山本 香織（おしどり荘）、加藤 淳美（サンライズ名和）、

三上 将史（山陰労災病院）、田中 卓（養和病院）、

村瀬 良知（済生会境港総合病院）

◎ 認知症対策委員会

1. 認知症研修会

(1) 第7回認知症研修会

日 時：平成29年 8月 26日（土） 9：30～16：00

会 場：YMCA 米子医療福祉専門学校 201 教室

参加者：78名（うち9名他職種）

内 容：認知症初期集中支援の実際

9：30～10：30『講演1；認知症の方の在宅支援』 【テーマC】

10：40～12：00『講演2；認知症初期集中支援の実際』【テーマE】

13：00～14：00『講演3；認知症アセスメントの実際』【テーマB】

14：20～15：40『事例検討；実際のケースから学ぶ』

15:40～16:00『質疑応答』

講 師：村島 久美子（桜新町アーバンクリニック 作業療法士）

(2) 第8回認知症研修会

日 時：平成29年12月24日(日) 9:50～16:10

会 場：県民ふれあい会館（〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町21）

参加者：63名（うち他職種5名） ※アップデート研修新規修了者38名 累計123名修了済み

内 容：認知症になっても安心して暮らせるまちづくり/OT協会アップデート研修

研修Ⅰ：認知症アップデート研修【テーマA・B】

9:50～10:20『アップデート研修1；世界および日本における認知症の課題』

10:20～11:20『アップデート研修2；認知症の障害の本質と原因疾患への理解』

11:30～12:30『アップデート研修3；BPSDの原因・背景および障害構造の理解』

13:30～14:30『アップデート研修4；認知症作業療法におけるアセスメントとマネジメント』

講 師：高梨 悠一、菊本 理恵、田住 秀之（YMCA米子医療福祉専門学校）、石丸 雅崇（渡辺病院）

研修Ⅱ：「認知症になっても安心して暮らせるまちづくりとは？」【テーマF】

14:40～16:10『認知症になっても安心して暮らせるまちづくりとは？』

話題提供者：藤田 和子（NPO法人若年性認知症問題に取り組む会・クローバー 副理事長）

金谷 佳寿子（鳥取市認知症地域支援推進員）

原田 伸吾（デイサービスつむぎ 作業療法士）

(3) 第9回認知症研修会

日 時：平成29年3月11日(日) 9:30～16:10

場 所：YMCA米子医療福祉専門学校 201教室（鳥取県米子市錦海町3-3-2）

内 容：認知症初期集中支援チーム員研修伝達講習／認知症への支援～本人・家族・地域～

研修Ⅰ：認知症初期集中支援チーム員研修伝達講習

9:30～12:00 認知症初期集中支援チーム員研修伝達講習【テーマE】

講 師：土井 宣幸（介護老人保健施設はまかぜ）

大西 千香子（訪問リハビリステーションくらよし）

原田 伸吾（デイサービスつむぎ）

研修Ⅱ：認知症への支援～本人・家族・地域～

13:00～14:30 講演1：DAYS BLG!の活動～メンバーの想いをカタチに～【テーマC】

14:40～16:10 講演2：DAYS BLG!の活動～具体的アプローチ～【テーマD】

講 師：前田 隆行（NPO法人町田市つながりの開 理事長）

2. 全国研修/事業派遣協力

(1) 国立長寿研修センター主催 第5回、第6回認知症初期集中支援チーム員研修会

日 時：第5回平成29年10月14(土)、15日(日) ベルサール汐留（東京都中央区銀座8-21-1）

第6回平成29年11月11(土)、12日(日) 神戸国際展示場（神戸市中央区港島中町6-11-1）

派遣者：中部圏域 大西 千香子（訪問看護リハビリステーションくらよし）

西部圏域 土井 宣幸（老健はまかぜ）

東部圏域 原田 伸吾（デイサービスつむぎ）

(2) OT協会認知症推進員会議（東京）

日 時：平成29年11月18日(土)、19日(日) TKP神田ビジネスセンター 401会議室

派遣者：東部認知症委員 - 古土居 知恵（デイサービスつむぎ）、横尾 和也（渡辺病院）

(3) とっとり方式認知症予防検証事業（伯耆町）

日 時：平成29年10月～平成30年3月

派遣者：作野 亘（なんぶ幸朋苑）、永栄 夏育（米子病院）、金山 雄気（養和病院）

仲田 奈生（大山リハビリテーション病院）、田住 秀之（YMCA米子）

実行委員/知的活動部会：高梨 悠一（YMCA米子）

(4) 認知症初期集中支援チーム員/チーム員会議

鳥取市認知症初期集中支援チーム：石丸 雅崇（渡辺病院）

中部地区検討会：舟木 絵美（倉吉病院）、大西 千香子（訪問看護リハビリステーションくらよし）

米子市サポートチーム対応力向上チーム員会議/認知症施策を考える会：田住 秀之（YMCA米子）

(5) 認知症啓発イベント「RUNTOMO TOTTORI」開催協力

日 時：平成 29 年 10 月 29 日（日） 9：00～16：30（米子市および鳥取市）

主 催：NPO 法人認知症フレンドシップクラブ/RUNTOMO TOTTORI 実行委員会

参加者：約 110 名 25 チーム

後 援：鳥取県、鳥取市、米子市、鳥取県リハビリテーション専門職連絡協議会他 12 団体

実行委員：15 名

門脇 達也、高橋 絵美（養和病院）、向井 京子（鳥取県長寿社会課）、岡野 元明（米子病院）
石田 町子（鳥取市地域包括ケア推進課）、横尾 和也（渡辺病院）、小椋 善文（米子市長寿社会
課）原田 伸吾、古土居知恵（デイサービスつむぎ）、金谷 佳寿子（鳥取市認知症地域支援推進
員）藤田 和子、松本 真理愛（NPO 若年性認知症に取り組む会クローバー）、
高梨 悠一、菊本 理恵、田住 秀之（YMCA 米子医療福祉専門学校）

3. 認知症研修等修了状況（H30. 2. 15 現在）

（1）認知症研修 6 テーマ受講修了者 78 名

（2）OT 協会アップデート研修受講修了者 123 名

（3）認知症初期集中支援チーム員研修受講者 6 名 / 伝達講習受講者 62 名

※会員個人の受講状況は県士会 HP よりご確認ください。

4. 認知症委員/研修運営スタッフ

（1）H29 年度認知症委員

担当理事：田住 秀之（YMCA 米子）

西部：高梨 悠一、菊本 理恵（YMCA 米子）、門脇 達也、金山 雄気（養和病院）、赤井 理智子、足立 沙
智子（西伯病院）、岡野 元明（米子病院）

東部：石丸 雅崇、横尾 和也（渡辺病院）、古土居 知恵（デイサービスつむぎ）

中部：池本 真一（三喜苑）、山根 七恵、山本 麻未、舟木 絵美（倉吉病院）

（2）H29 年度認知症研修会運営協力

廣田 貴紀（デイサービスつむぎ）、清山 茜、細田 悠太（三喜苑）

◎ その他

第3号議案 平成29年度決算報告書承認及び監査報告の件

財産目録					
平成30年3月31日現在					
(単位:円)					
科目			金額		
資産の部	1.流動資産				3,056,054
	1)現金		292,422	292,422	
	2)普通預金	鳥取銀行三柳支店 303931(財務)	13,673		
	普通預金	" 三柳支店 303940(事務局)	300		
	普通預金	" 三柳支店 303950(生活行為向上マネジメント)	463,085		
	普通預金	" 三柳支店 303978(領域対策)	216,223		
	普通預金	" 三柳支店 303987(広報)	31,747		
	普通預金	" 三柳支店 312449(学術)	331,476		
	普通預金	" 三柳支店 312458(地域包括ケア対策)	430,443		
	普通預金	" 三柳支店 312467(認知症対策)	137,733		
	郵便振替	ゆうちょ銀行	1,138,542	2,763,222	
	3)立替金	未収入金	410	410	
	2.固定資産				400,000
	(1)特定資産				
	1)啓発グッズ等積立預金	ゆうちょ銀行	400,000	400,000	
資産合計					3,456,054
負債の部	I.流動負債				722,012
	1)前受金	正会員会費 H30 4件	20,000	20,000	
	2)預り金	補助金の返金額	702,012	702,012	
	負債合計				722,012
	正味財産				2,734,042

貸借対照表			
平成30年3月31日現在			
(単位:円)			
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【3,056,054】	【流動負債】	【717,323】
現金・預金	3,056,054	前受金	20,000
		預り金	702,012
【固定資産】	【400,000】	負債合計	722,012
(特定資産)	(400,000)	純資産の部	
啓発グッズ積立預金	400,000	【剰余金】	【2,734,042】
		啓発グッズ積立金	400,000
		繰越利益剰余金	2,334,042
		純資産合計	2,734,042
資産合計	3,456,054	負債・純資産合計	3,456,054

平成 29 年度決算書（全体）

自 平成29年4月 1日 至 平成30年3月31日			
勘定科目			
大科目	予算額	決算額	差額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,400,000	2440000	△ 40,000
研修会収入	770,000	715,000	55,000
補助金等の収入	176,000	3,669,239	△ 3,493,239
雑収入	1,000	18	982
事業活動収入合計(A)	3,347,000	6,824,257	△ 3,477,257

(単位:円)			
2. 事業活動支出			
(1) 管理運営部門			
	予算額	決算額	差額
事務局	726,000	580,278	145,722
規約委員会	27,000	0	27,000
倫理委員会	2,000	0	2,000
総会議事運営委員会	44,000	42,696	1,304
選挙管理委員会	37,000	0	37,000
(2) 事業費支出			
渉外部	60,000	8,149	51,851
広報部	463,000	318,253	144,747
事業部	538,000	269,063	268,937
学術部	884,000	636,489	247,511
教育部	163,000	86,200	76,800
領域対策部	261,000	131,777	129,223
財務部	298,000	197,748	100,252
生活行為向上マネジメント委員会	711,500	392,782	318,718
地域包括ケア対策委員会	373,378	60,055	313,323
認知症対策委員会	609,000	241,969	367,031
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	1,292,282	1,292,282	0
地域包括ケアシステム研修事業	918,555	918,555	0
チームケアリーダー育成研修事業	1,341,969	1,341,969	0
事業活動支出計 (B)	8,749,684	6,518,265	2,231,419
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 5,402,684	305,992	△ 5,708,676

勘定科目	第2次補正予算額	決算額	差額	差額
中 科 目				
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計 (D)	0	0	0	
2. 投資活動支出				
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000	50,000	0	郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計 (E)	50,000	50,000	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 50,000	△ 50,000	0	
III 予備費支出 (G)	200,000	0	200,000	
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 5,649,306	255,992	△ 5,905,298	
前期繰越収支差額 (I)	2,078,050	2,078,050	0	
次期繰越収支差額 (J)=(H)+(I)	△ 3,571,256	2,334,042	△ 5,905,298	

平成 29 年度決算書（一般会計）

自 平成29年4月 1日 至 平成30年3月31日								
勘定科目								
大科目	予算額	第2次補正予算	決算額	差額	小科目	予算額	決算額	差額
I 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
会費収入	2,400,000	2,400,000	2,440,000	△ 40,000	年会費	2,400,000	2,440,000	△ 40,000
研修会収入	1,125,000	770,000	715,000	410,000	第14回県学会	300,000	321,000	△ 21,000
					現職者共通研修	90,000	78,000	12,000
					現職者選択研修	120,000	88,000	32,000
					第4回中国ブロック研修会	200,000	228,000	△ 28,000
					テーマ別勉強会	60,000	0	60,000
補助金等の収入	176,000	176,000	116,433	59,567	活動費	20,000	0	20,000
					助成金	0	0	0
					共催金	150,000	110,000	40,000
					繰越金	6,000	6,433	△ 433
					賛助費	0	0	0
雑収入	1,000	1,000	18	982	雑収入	1,000	18	982
事業活動収入合計(A)	3,702,000	3,347,000	3,271,451	430,549		3,347,000	3,271,451	75,549

(単位:円)

2. 事業活動支出													
(1)管理運営部門													
	当初予算額	第2次補正予算額	決算額	差額	中項目	第2次補正予算額	決算額	差額	小 項 目	第2次補正予算額	決算額	差額	備考
事務局	596,000	726,000	580,278	145,722	事 務 費	135,500	89,940	45,560	事務用品費	71,500	38,882	32,618	37433円(内訳:名刺代金(17名×100枚)36870円、ポケットファイル563円)、中部(コピー代1260円、コピー用紙代189円)
									通 信 費	14,000	13,258	742	振込手数料 @432円、切手代@8600円(@120円×60点、140円×10点、)、レターバックライト(@360円×1) 中部:切手代@82円 東部:振込手数料@2964円、切手代@820円
									封筒作成費	50,000	37,800	12,200	東部事務局へ作成委託(角2封筒1,000枚、長3封筒1,000枚)
					会 場 費	9,000	4,228	4,772	会 場 費	9,000	4,228	4,772	理事会6回 施設利用費(第1回1478円、第2回1250円、第3回750円、第4回750円、第5.6回 無料)
					役 務 費	484,500	414,260	70,240	旅 費	484,500	414,260	70,240	OT総会(5/21)受付交通費(1500円×1名、1200円×2名、500円×2名)
													理事会交通費第1回13000円、オブザーバー分(第2回3000円、第4回1000円、第6回500円)
													第2～6回理事交通費85000円
													平成29年度定時社員総会 15,000円(日当5,000円×1日×3名)
													県民税・市民税納税500円
													平成29年度士会接線システム講習会 旅費(37,620円×1名)、日当(5,000円×2名)
													47都道府県委員会(会長は日当のみ、オブザーバー副会長は旅費+日当)
													第1回旅費 51,000円(1名×1泊2日)・日当20,000円(@5000円×2名×2日)、
													第2回旅費 52,100円(1名×1泊2日)・日当20,000円(@5000円×2名×2日)、
													第3回旅費 54,940円(1名×1泊2日)・日当20,000円(@5000円×2名×2日)
													ST学会懇親会来賓 日当(@5000円×1名) ※会長
													公衆衛生従事者意見交換会 旅費6900円(宿泊費6400円、交通費500円)
													西部歯科医師会地域包括ケア研修会・意見交換会 旅費5800円(宿泊費5300円、交通費500円)
運転と作業療法委員会都道府県士会協力者会議 日当(@5000円×1名)													
鳥取県医師会創立70周年記念事業(鳥取市)交通費@3,000円													
需用 費	6,000	7,140	-1,140	茶菓子代	6,000	7,140	-1,140	理事会茶菓子代(第1回1807円、第2回863円、第3回763円、第4回885円、第5回880円、第6回625円)、中部:事務局会議費1317円(633円+684円)					
税 金	81,000	60,000	21,000	法人県民税	21,000	0	21,000	法人県民税・年間(鳥取県):申請により無料となっている					
				法人市民税	60,000	60,000	0	法人市民税・年間(米子市)					
慶弔 費	10,000	4,710	5,290	慶 弔 費	10,000	4,710	5,290	電報(祝電)等					
規約委員会	27,000	27,000	0	27,000	事 務 費	1,400	0	1,400	事務用品費	1,000	0	1,000	
									通 信 費	400	0	400	
					役 務 費	20,000	0	20,000	旅 費	20,000	0	20,000	
					需用 費	5,600	0	5,600	食 糧 費	5,600	0	5,600	

倫理委員会	2,000	2,000	0	2,000	事務費	2,000	0	2,000	事務用品費	1,000	0	1,000	
									通信費	1,000	0	1,000	
総会議事運営委員会	44,000	44,000	42,696	1,304	事務費	2,400	648	1,752	事務用品費	1,200	648	552	ファイル、その他必要な事務用品 648円
									通信費	1,200	0	1,200	
					会場費	10,000	6,048	3,952	会場費	10,000	6,048	3,952	総会アゼリア会場費(会場代、備品使用代)6,048円
					役務費	28,600	36,000	-7,400	旅費	6,000	1,500	4,500	委員会1,500円(1,500円×1名×1回)理事会時に実施
										22,600	34,500	-11,900	総会34,500円(1,500円×17名、500円×6名、1,200円×5名)
					需費	3,000	0	3,000	茶菓子代	3,000	0	3,000	
選挙管理委員会	37,000	37,000	0	37,000	事務費	1,000	0	1,000	事務用品費	1,000	0	1,000	
					役務費	35,000	0	35,000	旅費	35,000	0	35,000	
					需用費	1,000	0	1,000	茶菓子代	1,000	0	1,000	
(2)事業費支出													
渉外部	53,000	60,000	8,149	51,851	事務費	1,000	449	551	事務用品費	500	449	51	資料ファイル449円
									通信費	500	0	500	
					役務費	56,000	7,700	48,300	旅費	56,000	7,700	48,300	日本作業療法士連盟総会・研修会東京 不参加 県教育委員会訪問1,200円×1名 東部圏域地域保健医療協議会500円 YMCA米子医療福祉専門学校入学式・卒業式交通費 1,000円(500円・500円) 特別支援教育(広島)日当5,000円
					研修会費	3,000	0	3,000	研修会費	3,000	0	3,000	日本作業療法士連盟研修会費 不参加
広報部	463,000	463,000	318,253	144,747	事務費	107,000	76,384	30,616	事務用品費	4,000	1,551	2,449	印刷代、封筒代など、155円、416円、980円
									通信費	63,000	41,592	21,408	ニュース送料・資料取り寄せ費41,592円
									委託費	40,000	33,241	6,759	作業所委託33,241円
					印刷費	136,000	127,753	8,247	印刷費	136,000	127,753	8,247	ニュース印刷費127,753円
					ホームページ費	64,000	51,134	12,866	管理費	53,000	51,134	1,866	
									作成費	11,000	0	11,000	
					役務費	30,000	20,400	9,600	旅費	30,000	20,400	9,600	広報部担当者打合せ交通費20,400円・(1,500円×2名、500円×6名、1,200円×12名):3回
					需費	2,000	2,822	-822	茶菓子代	3,000	2,822	178	打合せお菓子代2,822円:3回
					啓発キャンペーン	124,000	39,760	84,240	事務費	45,000	4,666	40,334	送料・DVD購入4,666円
									材料費	20,000	14,215	5,785	材料費14,215円(100名分)
									会場費	5,000	900	4,100	会場費900円
													下見500円
									役務費	37,000	13,200	23,800	打合せ交通費:4,600円(1,200円×3名、500円×2名) 当日スタッフ:8,100円(8名分:1,200円×3名、500円×3名、3,000円×1名)
													弁当代4,859円(6名)
									需用費	12,000	6,779	5,221	茶菓子代:959円(1回)
													当日協力者休憩用お菓子・飲み物:961円(7名分)
									予備費	5,000	0	5,000	

事業部	538,000	538,000	269,063	268,937	事 務 費	12,000	6,648	5,352	事務用品費	10,000	6,000	4,000	総会後資料印刷6,000円					
					講 師 費	24,000	6,000	18,000	通 信 費	2,000	648	1,352	振込手数料648円					
					訪問リハ	280,000	105,990	174,010	旅 費	170,000	56,990	113,010	総会時間催修会6,000円(6,000円×1名)					
										30,000	0	30,000	訪リハ地域リーダー育成:56,990円((旅費 東京⇄米子 交通費34,680円(34,680円×1名)、交通費その他2,560円、宿泊費9,750円(9,750円×1名)、日当10,000円(5,000円×2日×1名))					
									負 担 金	80,000	49,000	31,000	訪問リハビリテーションフォーラム・欠席					
					中国地区リーダー養成研修会	222,000	150,425	71,575	旅 費	72,000	47,920	24,080	リーダー研修47,920円:旅費 委員交通費14,000円(500円×1名×3回、500円×6名×2回、500円×1名×1回、1,500円×1名×2回、1,500円×1回×2名)、一日参加者交通費16,500円(500円×6名×1日、1500円×1名×1日、3000円×4名×1日)、宿泊費17,420円(6,130円×1名、5,990円×1名、5,300円×1名)					
										負 担 金	150,000	102,505	47,495	中国支部(士会員負担金)				
									事務用品費	5,000	4,964	36	外付HDD4,964円					
					学術部	880,000	884,000	636,489	247,511	事 務 費	6,200	4,964	1,236	事務用品費	5,000	4,964	36	外付HDD4,964円
										勉強会活動費	160,000	0	160,000	勉強会活動費	160,000	0	160,000	20,000円×8テーマ
研修会支援費	50,000	0	50,000	研修会支援費						50,000	0	50,000	0円					
第14回県学会	651,800	613,525	38,275	講 師 費						68,500	67,680	820	特別講演 報償費 40,000円					
				会 場 費						79,000	66,915	12,085	旅費 24,180円(交通費14,180円+宿泊費10,000円)、座長旅費3500円((東-西3000円×1名、同地区500円×1名))					
													会場費52,664円(会場費+機器)					
				会場関連費14,251円(花・垂れ幕)														
				印刷製本費						234,000	233,648	352	学会誌印刷製本222,768円 ポスターチラシ作成 10,880円					
				会 議 費						5,000	5,000	0	講師打合せ会場費 5,000円					
				事 務 費						124,040	113,890	10,150	事務費 6,441円					
				役 務 費						90,300	81,500	8,800	通信費 86,169円 学会誌郵送費 21,280円					
													実行委員旅費 55,500円(5500円×3名、5000円×4名、4500円×2名、4000円×1名、2500円×1名、2000円×1名、500円×3名)、会場下見旅費 6,000円(500円×4名×3回)、当日役員旅費 11,000円(500円×22名)					
													交通費 9,000円(9名×500円、1名×1500円、1名×3000円)					
講師等用茶菓子 893円																		
需 用 費	47,800	44,892	2,908	講師・座長昼食 2652円(講師1名、座長2名)														
				役員3名昼食 3,536円(4名 会長、学会長、実行委員長、学術部長)														
				委員・担当昼食(32名) 21895円=弁当19200円+お茶代2695円														
				委員茶菓子代 6516円、7回分														
				委員前日夕食 8,400円 (700円×12名)														
				講師当日朝食 1,000円														
予 備 費	3,160	0	3,160															
第15回県学会	16,000	18,000	-2,000	役 務 費						16,000	18,000	-2,000	実行委員、前年度実行委員交通費18,000円 (500円×3名=1500円、1000円×6名=6000円、1500円×3名=4500円、3000円×2名=6000円)					
教育部	163,000	163,000	86,200	76,800	事 務 費	7,500	0	7,500	事務用品費	2,500	0	2,500						
					講 師 費	129,500	77,500	52,000	通信運搬費	5,000	0	5,000						
									報 償 費	108,000	60,000	48,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名)					
									旅 費	21,500	17,500	4,000	事例報告指導12,000円(6,000円×2名)					
					会 場 費	20,000	5,000	15,000	現職者共通研修 16,500円(前期西部4,500円(500円×3名、3,000円×1名)、後期東部12,000円(3,000円×4))									
					役 務 費	6,000	3,700	2,300	事例報告 1,000円(500円×2名)									
領域対策部	261,000	261,000	131,777	129,223	事 務 費	2,000	0	2,000	会 場 費	20,000	5,000	15,000	現職者共通研修 前期(西部)5,000円、後期(東部)0円					
					現職者選択研修	259,000	131,777	127,223	事務用品費	1,000	0	1,000	現職者共通研修 前期西部1,500円(500円×3名)、後期東部2200円(500円×2名、1200円×1名)					
									通 信 費	1,000	0	1,000						
									講 師 費	149,000	69,880	79,120	報償費 県外36,000円 県内12,000円(6,000円×2名)					
									会 場 費	20,000	5,570	14,430	旅費21,880円(県外講師 交通費 15,880円 三原⇄鳥取 県内講師 6,000円(3,000円×2名))					
													会場費5,410円、160円					
									印刷製本費	20,000	11,030	8,970	印刷代9,500円、1,500円、30円					
									会 議 費	5,000	0	5,000						
									事 務 費	1,000	0	1,000						
									役 務 費	35,000	26,000	9,000	500円×6名×8回=24,000円、500円×1名×4回=2,000円					
									需 用 費	24,000	19,297	4,703	講師昼食 2,100円(700円×3名)					
													委員昼食 4,200円(600円×7名)					
													当日夕食 7,000円(700円×10名)					
					講師茶菓子・飲み物 5,997円													
					予 備 費	5,000	0	5,000										

財務部	298,000	298,000	197,748	100,252	事 務 費	20,700	9,740	10,960	事務用品費	5,200	0	5,200	
									通 信 費	10,500	5,180	5,320	振込手数料648円、432円、切手代4100円
									利 用 料	5,000	4,560	440	会計ソフト年間利用料4560円
					役 務 費	32,000	10,500	21,500	旅 費	32,000	10,500	21,500	監査5,000円(3,000円×1名、500円×4名)総会会費受付3,000円(1,500円×2名)財務部業務2,000円(500円×4回)税理士相談時500円(500円×1回)
					需 用 費	4,500	3,800	700	食 糧 費	3,500	2,800	700	700円×4名
									茶菓子代	1,000	1,000	0	監査茶菓子代
					相 談 費	64,800	64,800	0	相 談 料	64,800	64,800	0	
生活行為向上マネジメント委員会	592,000	711,500	392,782	318,718	保 険 費	176,000	108,908	67,092	保 険 費	176,000	108,908	67,092	108,800円(800円×136名)、手数料108円
					負 担 金	30,000	22,000	8,000	負 担 金	30,000	22,000	8,000	
					事 務 費	2,000	0	2,000	事務用品費	1,000	0	1,000	
									通 信 費	1,000	0	1,000	
					役 務 費	0	159,246	-159,246	旅 費	0	159,246	-159,246	特別会計①に記載
					需 用 費	115,500	51,416	64,084	食 糧 費	80,500	37,100	43,400	
									茶菓子代	35,000	14,316	20,684	
					生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業	564,000	160,120	403,880	事 務 費	0	0	0	
									講 師 費	104,000	99,610	4,390	
									会 場 費	10,000	10,000	0	
									印刷製本費	50,000	40,510	9,490	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業
									会 議 費	10,000	10,000	0	講師費:99610円、会場費10000円、印刷製本費40510円、会議費10000円は県土会費の予算から捻出
									役 務 費	390,000	0	390,000	
									需 用 費	0	0	0	
地域包括ケア対策委員会	444,000	373,378	60,055	313,323	役 務 費	0	0	0	旅 費	0	0	0	
					需 用 費	74,300	55,366	18,934	食 糧 費	41,300	31,092	10,208	特別会計①に記載
									茶菓子代	33,000	24,274	8,726	
					地域包括ケアシステム研修	294,389	0	294,389	事 務 費	4,700	0	4,700	
									講 師 費	130,000	0	130,000	
									会 場 費	35,000	0	35,000	
									印刷製本費	15,000	0	15,000	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業
									会 議 費	5,000	0	5,000	
									役 務 費	80,000	0	80,000	
									需 用 費	20,000	0	20,000	
					返 金	4,689	4,689	0	鳥取県地域医療介護総合確保基金の返金	4,689	4,689	0	
認知症対策委員会	609,000	609,000	241,969	367,031	役 務 費	240,000	181,560	58,440	旅 費	240,000	181,560	58,440	特別会計①に記載
					需 用 費	100,000	60,152	39,848	食 糧 費	63,000	39,760	23,240	
									茶菓子代	37,000	20,392	16,608	
					チームケアリーダー育成研修事業	269,000	0	269,000	事 務 費	4,000	0	4,000	
									講 師 費	130,000	0	130,000	
									会 場 費	35,000	0	35,000	
									印刷製本費	15,000	0	15,000	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業
									会 議 費	5,000	0	5,000	
									役 務 費	60,000	0	60,000	
									需 用 費	20,000	0	20,000	
					返 金	0	257	-257	鳥取県地域医療介護総合確保基金の返金	0	257	-257	
事業活動支出計 (B)	5,007,000	5,196,878	2,965,459	2,231,419									
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 1,660,000	△ 1,849,878	3,858,798	△ 5,708,676									

地域包括ケアシステム研修事業	918,555	918,555	0	報酬	74,000	<u>日当(基金)</u> ・西部地区研修会16,000円 ・人材育成研修会20,000円 ・東中部地区研修会22,000円 ・大研修会16,000円
				報償費	110,000	<u>講師謝金(基金)</u> ・西部地区研修会20,000円 ・人材育成研修会16,000円 ・東中部地区研修会20,000円 ・大研修会54,000円
				旅費	229,646	<u>講師旅費:20,720円(基金)</u> ・大研修会20,720円 <u>委員・スタッフ旅費:208,926円(基金)</u> ・西部地区研修会11,652円 ・人材育成研修会13,626円 ・東中部地区研修会22,826円 ・大研修会12,492円 ・3委員会交通費6,000円 ・東部地区委員会交通費21,500円 ・中部地区委員会交通費9,600円 ・西部地区委員会交通費25,000円 ・全国推進会議旅費86,230円
				需用費	117,251	<u>食糧費:64,851円(県土会55,366円、基金9,485円)</u> ・西部地区研修会7,294円 ・人材育成研修会8,951円 ・東中部地区研修会10,357円 ・大研修会17,402円 ・3委員会7,000円 ・東部地区委員会6,395円 ・西部地区委員会7,452円 <u>消耗品費:13,477円(基金)</u> ・西部地区研修会1,404円 ・人材育成研修会1,188円 ・東中部地区研修会2,707円 ・大研修会1,784円 ・西部地区委員会6,394円 <u>印刷製本費:38,923円(基金)</u> ・西部地区研修会4,670円 ・人材育成研修会9,448円 ・東中部地区研修会11,900円 ・大研修会12,905円
				役務費	4,908	<u>通信運搬費(基金)</u> ・大研修会4,800円 ・手数料108円
				使用および賃借料	25,210	<u>会場費(基金)</u> ・人材育成研修会15,010円 ・東中部地区研修会10,200円
				返金	357,540	H28年度基金への返金4,689円(県土会) H29年度基金への返金352,851円(基金)
チームケアリーダー育成研修事業	1,341,969	1,341,969	0	報酬	82,000	<u>日当82,000円(基金)</u> ・第7回28,000円 ・第8回30,000円 ・第9回24,000円
				報償費	186,000	<u>講師謝金186,000円(基金)</u> ・第7回55,000円 ・第8回80,000円 ・第9回51,000円
				旅費	627,204	<u>講師旅費132,912円(基金)</u> ・第7回57,319円 ・第8回7,660円 ・第9回67,933円 <u>委員・スタッフ旅費176,884円(基金)</u> ・委員会交通費13,600円 ・委員業務交通費11,000円 ・第7回研修会交通費29,800円 ・第8回研修会交通費55,200円 ・第9回研修会交通費31,500円 ・第8回委員宿泊21,000円 ・第9回委員宿泊14,784円 <u>研修派遣旅費317,408円</u> ・初期集中支援チーム員研修135,848円(基金) ・初期集中支援チーム員研修116,720円(県土会) ・全国推進員会議54,840円(県土会) ・全国推進員会議日当10,000円(県土会)
				需用費	242,463	<u>委員会食糧費6,280円(県土会)</u> ・3委員会食糧費6,280円 <u>研修会食糧費51,480円</u> ・第7回15,980円(県土会)、4,000円(基金) ・第8回8,400円(県土会)、7,000円(基金) ・第9回9,100円(県土会)、7,000円(基金) <u>講師打ち合わせ会議費30,000円(基金)</u> ・第7回15,000円、第9回15,000円 <u>委員会茶菓子代2,736円(県土会)</u> 2,736円 <u>研修会茶菓子20,221円</u> 17,656円(県土会)、2,565円(基金) <u>消耗品費28,499円(基金)</u> 28,499円 <u>印刷製本費103,247円(基金)</u> ・103,247円
				役務費	22,606	<u>通信運搬費22,606円(基金)</u> ・22,606円
				使用および賃借料	43,710	<u>会場費43,710円(基金)</u> ・第7回10,000円 ・第8回28,710円 ・第9回5,000円
				返金	137,986	H28年度基金への返金257円(県土会) H29年度基金への返金137,729円(基金)
事業活動支出計	3,552,806	3,552,806	0			
事業活動収支差額	0	0	0			

正味財産増減計算書				
		自 平成29年4月1日		
		至 平成30年3月31日		
勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収入		(715,000)	(859,500)	(△144,500)
	研修会収入	394,000	553,500	△ 159,500
	学会収入	321,000	306,000	15,000
	その他の収入	0	0	0
正会員収入		(2,440,000)	(2,385,000)	(55,000)
	正会員会費収入	2,440,000	2,385,000	55,000
	賛助会員会費収入	0	0	0
補助金収入		(3,669,239)	(4,897,975)	(△1,233,425)
	補助金収入	3,669,239	4,897,975	△ 1,228,736
雑収入		(18)	(42)	(△24)
	雑収入	18	42	△ 24
経常収益計(A)		6,824,257	8,142,517	△ 1,318,260

単位: (円)				
勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
(2) 経常費用				
① 管理運営部門		(622,974)	(583,399)	(39,575)
	事務局支出	580,278	541,993	38,285
	規約委員会支出	0	3,000	△ 3,000
	倫理委員会支出	0	980	△ 980
	総会議事運営委員会支出	42,696	26,426	16,270
	選挙管理委員会支出	0	11,000	△ 11,000
② 事業費支出		(5,885,913)	(2,589,429)	(△ 786,703)
	渉外部支出	8,149	5,607	2,542
	広報部支出	318,253	285,024	33,229
	事業部支出	269,063	455,498	-186,435
	学術部支出	636,489	555,858	80,631
	教育部支出	86,200	149,466	-63,266
	領域対策部支出	131,777	109,759	22,018
	財務部支出	197,748	223,030	△ 25,282
	生活行為向上マネジメント委員会支出	392,782	255,012	137,770
	地域包括ケア対策委員会支出	60,055	203,271	△ 143,216
	認知症対策委員会支出	241,969	346,904	△ 104,935
	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業	1,292,282	1,420,012	△ 127,730
	地域包括ケアシステム研修事業	918,555	1,176,771	△ 258,216
	チームケアリーダー育成研修事業	1,341,969	1,486,404	△ 144,435
	第13回県学会	0	809,638	△ 809,638
	啓発キャンペーン	0	285,150	△ 285,150
経常費用計(B)		6,518,265	8,350,803	△ 1,832,538
当期経常増減額(C)=(A)-(B)		305,992	△ 208,286	514,278
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益		(0)	(0)	(0)
経常外収益計(D)		0	0	0
(2) 経常外費用		(0)	0	0
経常外費用計(E)		0	0	0
当期外経常増減額(F)=(D)-(E)		0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)		305,992	△ 208,286	514,278
一般正味財産期首残高(H)		2,428,050	2,636,336	△ 208,286
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)		2,734,042	2,428,050	305,992
II 正味財産期末残高		2,734,042	2,428,050	305,992

監査報告書

監査報告書

平成30年 4月20日

一般社団法人 鳥取県作業療法士会
会 長 松 本 太 蔵 様

一般社団法人 鳥取県作業療法士会

監 事 横 野 洋 子

監 事 土 肥 繁 樹



私たち監事は、平成29年度における鳥取県作業療法士会の事業を監査したので、その結果を次のとおり報告します。

I. 監査方法の概要

平成29年度に開催された理事会に出席し、事業の報告を聴取しました。また、平成29年度事業報告書、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、財産目録、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書、収支計算書を閲覧するとともに、執行状況を聴取するなど、必要な監査手続きを実施しました。

II. 監査の結果

1. 事業報告等の監査結果

(1)事業報告及びその附属明細書は、法令および定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2)業務の執行においても法令および定款に従い、正しく遂行しているものと認めます。

2. 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類およびその附属明細書は、法人の状況を適正に表示しているものと認めます。

3. 監事の意見

平成29年度は役員改選年度に当たり、新規就任の理事におかれては、適正に業務を執行し、重責を果たされました。これは、理事をはじめ、部員、委員、会員の皆様が企画・運営に携わり、協力が行われた結果と考えます。

平成30年度においても会員の皆様には、法人からの依頼や要請事項につきましては、速やかに対応いただき、法人の事業が迅速かつ円滑に遂行できることを望みます。

平成 30 年度 事業計画

◎ 事務局

1. 本部事務局

(1) 会議の開催

- ① 定期総会 平成 30 年 5 月 20 日（日）
- ② 理事会 第 1 回 平成 30 年 4 月 21 日（土）
 第 2 回 平成 30 年 7 月 14 日（土）
 第 3 回 平成 30 年 9 月 15 日（土）
 第 4 回 平成 30 年 11 月 10 日（土）
 第 5 回 平成 31 年 1 月 26 日（土）
 第 6 回 平成 31 年 3 月 日（土） ※後日、日程調整する

(2) 会員管理事務

- ① 会員の入退会管理（担当責任：中部地区副会長）
- ② 会員の連絡網整備（電子メール連絡網更新）

(3) 文書処理

(4) 作業療法士に関連する全国組織との連携

- ① 日本作業療法士協会
 - i. 定時社員総会：5 月 26 日（土）東京 鳥取県代議員：松本 太蔵、他 2 名
 - ii. 47 都道府県委員会 年 3 回 東京 *3 回ともオブザーバー参加可能
 - iii. 会員情報システム管理 中部事務局合同
 - iv. 日本作業療法士協会の現況調査入力
 - v. 日本作業療法士協会のアンケート回答
 - vi. その他

(5) その他

2. 東部支部

(1) 東部地区の会員管理事務

- ① 入退会管理
- ② 名簿作成、中部支部へ提出
- ③ 地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

(2) 封筒作成

3. 中部支部

(1) 中部地区の会員管理事務

- ① 入退会管理
- ② 名簿作成
- ③ 地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

(2) 全域の会員管理事務

- ① 全域の入退会管理、本部事務局へ提出
- ② 全域の名簿作成、本部事務局・財務部・教育部・中部地区副会長へ提出
- ③ 地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出
- ④ 会員情報システム管理

4. 西部支部

(1) 西部地区の会員管理事務

- ① 入退会管理
- ② 名簿作成・中部支部へ提出
- ③ 地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡、調整に関わること
 - (1) 鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整
 - ①平成 30 年度介護専門職研修事業、研修企画会議
 - ②平成 30 年度介護専門研修、講師調整
 - (2) 特別支援教育への協力
 - ①会員、学校との連絡調整、実施集計など
 - ②県、市町村教育委員会との連携
 - ③日本作業療法士協会との連携
 - (3) 東部圏域地域保険医療協議会
 - (4) YMCA 米子医療福祉専門学校との入学、卒業式参加
 - (5) 若草学園協力
 - (6) 学童保育鳥取県連絡協議会との連携協力
 - (7) 他の関係機関との協力・連携・調整、及び依頼事業への対応

◎ 広報部

1. 士会ニュース発行
 - (1) 年 4 回発行 (99～102 号)
2. 広報資料の整備
 - (1) パンフレット (日本作業療法士協会より取り寄せ)
 - (2) オペラ (日本作業療法士協会より取り寄せ)
 - (3) その他
3. 学校への啓発・広報活動
 - (1) 資料配布
 - ①高校への配布 (施設見学案内を含む)
 - ②委員会・小学校・中学校・特別支援学校への配布 (特別支援教育関係)
 - (2) 施設見学 (東部、中部、西部の各地区の承諾施設で実施) 7～8 月
4. 一般への啓発・広報活動
 - (1) 作業療法推進キャンペーン活動開催地 (中部地区)
 - ①期日：平成 30 年 6 月 2 日 (土)
 - ②会場：「ふれあいほろまつり」倉吉病院敷地内
 - (2) その他、啓発・広報活動
5. 作業療法推進月間 (8 月)
 - (1) ポスターの配布 (配布先：OT 在籍施設、市町村役場、OT 不在の病院・老健)
 - (2) オペラ 22 号の配布
6. ホームページ管理・更新
7. 日本作業療法士協会との連携 (Web 会議への参加)
8. データ管理委員会
 - (1) 郵送に関するデータを管理・更新 (各部・委員会との連携)
 - (2) 円滑な郵送方法情報を提供
9. その他

◎ 事業部

1. 訪問地域リーダー会議
 - (1) 期日：H30 年 5 月 18 日 (金)、19 日 (土)
 - (2) 会場：タイム 24 ビル 13 階 (東京)
 - (3) 出席者：山下 大輔 氏 (養和病院)
2. 訪問リハビリテーションフォーラム 2018
 - (1) 期日：H30 年 5 月 20 日 (日)

- (2) 会場：東京ビッグサイト（東京）
- (3) 出席者：山下 大輔 氏（養和病院）
- 3. 中国地区作業療法士会リーダー養成研修会
 - (1) 期日：未定
 - (2) 会場：広島県
 - (3) 内容：未定
- 4. 訪問リハビリテーション実務者研修会
 - (1) 期日：未定
 - (2) 会場：未定
 - (3) 内容：未定

◎ 学術部

- 1. テーマ別勉強会
 - (1) 東部地区 1 テーマ 全般
 - (2) 中部地区 2 テーマ 中部合同、精神科
 - (3) 西部地区 5 テーマ 作業を考える会、CVA、福祉機器・住環境、精神科、治療演習・ADL
※特別支援教育に関する渉外部合同の勉強会を実施予定
- 2. 第 15 回鳥取県作業療法学会
西部地区にて開催予定、内容は以下のとおり
 - (1) 期日：平成 30 年 11 月 25 日（日）
 - (2) 会場：米子市淀江文化ホール（さなめホール） 大ホール（予定）
 - (3) 主題：未定（認知症をキーワードに地域の方々と一緒に学べるようなテーマ）
 - (4) 特別講演：岡野 雄一氏（漫画家）
 - (5) 役割：

学会長 実行委委員長 副実行委員長兼講師接待 広報・会場 学会誌 演題 会計	土井 宣幸（はまかぜ） 高梨 悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校） 小山 雅之（錦海リハビリテーション病院） 村瀬 良知（済生会境港総合病院） 田村 理恵（医大病院） 仲田 奈生（大山リハビリテーション病院） 比田 亜希（錦海リハ） 山根 寿美（エルフィス）
--	---
- 3. 査読委員会（新設）
 - (1) 査読委員会の開催（年 4 回）
 - (2) 県学会演題採択に際する投稿規定の作成および修正
 - (3) 演題審査における査読者への依頼および調整
 - (4) 査読人材バンクの登録および管理

◎ 教育部

- 1. 生涯教育制度に関する管理
 - (1) ホームページ「生涯教育制度について」更新
 - (2) 生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新
 - (3) 基礎研修ポイント管理・発行
 - ① 協会よりポイントシール受領・返却
 - ② 士会裁量基礎研修ポイント集計・発行
 - ③ 現職者共通研修修了ポイント発行
 - ④ 現職者選択研修会ポイント発行
 - ⑤ 鳥取県作業療法学会ポイント発行
 - ⑥ 基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行
 - ⑦ 基礎研修ポイント申請の受付・発行

2. 生涯教育制度に関する開催

(1) 現職者共通研修会

期日と会場（予定）	区分	テーマ	講師（予定）
①前期 7月29日（日） 会場：東中部 鳥取医療センター	I	作業療法生涯教育概論	花 倉 敏 文：養和病院
		職業倫理	長 田 貴 徳：尾崎病院
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長 谷 川 徹：はまなす
		作業療法における協業・後輩育成	田 住 秀 之：YMCA 米子
②後期 10月28日（日） 会場：西部 YMCA 米子	II	作業療法の可能性	未 定
		事例報告と事例研究	梅 津 清 司 郎：YMCA 米子
	IV	日本と世界の作業療法の動向	佐 野 積 一：大山リハ病院
		実践のための作業療法研究	高 梨 悠 一：YMCA 米子

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

- (1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）
- (2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）
- (3) SIG 等登録認定（SIG として認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）

4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

- (1) 生涯教育制度推進委員会への出席
- (2) 生涯教育受講登録システムへの登録

5. 会員への情報伝達

- (1) 県士会ニュースへの掲載
- (2) ホームページへの掲載
- (3) その他

6. MTDLP 委員会

平成 30 年 4 月より教育部傘下委員会として運営する。

- (1) 平成 30 年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請作業
- (2) 生活行為向上マネジメント委員会の開催

全県委員会（年 4 回）

業務内容

- ①生活行為向上マネジメント研修会 企画・運営
生活行為向上マネジメント研修カリキュラムの管理
- ②生活行為向上マネジメント広報活動
- ③生活行為向上マネジメント指導者養成

- (3) 平成 30 年度 MTDLP 基礎研修・実践者研修会（予定）

会場	基礎研修	実践者研修
平成 30 年 8 月 5 日 アゼリアホール（倉吉市）	9：00～16：20	9：00～12：10
平成 30 年 12 月 16 日 アゼリアホール（倉吉市）	9：00～16：20	9：00～12：10

7. 他部との連携・協力

- (1) 学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
- (2) 事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
- (3) 領域対策部：現職者選択研修会など
- (4) 事務局：会員管理事務など
- (5) 特設委員会：士会主催研修会など

◎ 領域別対策部

1. 現職者選択研修（老年期障害領域）
 - (1) 期日：未定
 - (2) 会場：未定
 - (3) 内容：未定
2. 情報配信

◎ 財務部

1. 会費徴収について
 - (1) 会費徴収
 - (2) 未納者への督促
2. ボランティア保険加入手続き
県士会事業に関わる会員のみ加入手続きを行う
3. 予算事務に関する特記事項
 - (1) 事務局
 - ① 代表理事活動費として 50,000 円計上する
 - (2) 学術部
 - ① 第 15 回県学会映画上映賃貸料として 250,000 円計上する
 - ② 査読委員会役務費として 18,500 円計上する
 - (3) 財務部
 - ① PC ウィルス対策ソフト更新費として 14,000 円計上する
 - ② 事務用品費、通信費として 46,700 円計上する

◎ 規約委員会

1. 規約委員会開催（年 2 回以上開催予定）
2. 施行則・規程内容の追加・修正、削除の作業及び問い合わせ
3. 各専門部との連携
4. その他（規約変更）

一般社団法人 鳥取県作業療法士会
出張旅費規程

平成 25 年 4 月 1 日

（目的）

第 1 条 この規程は、この法人の業務遂行のために出張する場合の旅費等の取り扱い及び手続きに関する事項を定める。

（定義）

- 第 2 条 この規程において、「出張」とは、日帰り出張、宿泊出張及び国外出張をいい、その定義は当該各号に定めるところによる。
- 一 日帰り出張 当日中に帰宅できる場合の出張をいう。
 - 二 宿泊出張 宿泊しなければ出張の目的が達成されない場合で、当日中に帰宅できない場合の出張をいう。
 - 三 国外出張 理事会が認めた国外出張をいう。
- 2 この規程において、「旅費」とは、交通費、宿泊費及び日当をいう。

（旅費の支給）

第 3 条 役員を含めた会員が、公務で旅行した場合は、旅費を支給する。

（交通費の種類）

第 4 条 旅費の種類は、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃とする。これらの基準は別表 1 の通りとする。

(旅費の計算)

第5条 旅費は、もっとも経済的な通常の経路及び方法により旅行した場合の実費を支給する。

2 出張の際の旅費支払は別記第4号様式に記入し概算費用の前払いとする。

なお、出張内容に変更が生じた時は適正に精算するものとする。

3 役員が外国を旅行する場合の旅費の支給額は、その都度理事会が決定する。

4 国外へのお出張旅費は、実費支給とする。

(規程の変更)

第6条 この規程の変更は、理事会の議決がなければ変更できない。

(出張報告)

第7条 出張旅費を受けたものは、公務終了日より1か月以内に報告書(別記第5号様式)を作成し事務局へ提出する。

(旅費の不支給)

第8条 出張に係る経費が社外から支払われる場合は、本規程に基づく旅費は支給しないものとする。ただし、不足分がある場合には、その不足分に限り支給する。

(その他)

第9条 本規程で処理できない場合は、その都度協議にて処理する。

付 則

この規則は平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

この規則は平成 30 年 3 月 10 日に一部改正、同年 4 月 1 日から施行する。

旅 費 支 払 い 基 準

別表 1

公共交通機関	全額支給
宿泊料	上限 10,000 円
日当	県外 5,000 円 (業務を行う日に限る)
	県内 5,000 円 (1 日)、2,500 円 (半日)

一般社団法人 鳥取県作業療法士会 費用弁償規程

平成 25 年 4 月 1 日

(趣旨)

第1条 この規程は、この法人の事業活動及び会の代表としての活動に対して、費用弁償にいての基準を定めるものである。

(費用弁償の範囲)

第2条 費用弁償の項目及び費用等は別表 1 および 2 に掲げる範囲内とする。

2 講師謝料は、この法人が主催する研修会・講習会における講演または講義、実習または演技指導に対して支払う。講師の基準額は、別表 2 に掲げる。

(規程の変更)

第3条 この規程の変更は、理事会の議決がなければ変更できない。

付 則

この規則は平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

この規則は平成 30 年 3 月 10 日に一部改正、同年 30 年 4 月 1 日から施行する。

別表 1

項目	費用	精算方法
県内移動時の交通費 (理事会、委員会など)	東部—西部 3,000 円 東部—中部 1,200 円 西部—中部 1,500 円 同一区域 500 円 次に掲げる対象地域においては上記区域費用（同一区域内を除く）に 500 円を加算する （対象地域） 東部 岩美町・鳥取市国府町・八頭町・若桜町 智頭町・鳥取市用瀬町・鳥取市河原町・鳥取市佐治町 中部 三朝町・倉吉市関金町 西部 江府町・日野町・日南町・伯耆町溝口・南部町・境港市 県外 対象地域と同じ扱いとする	当日精算
公務出張費	公共交通機関を全額支給	別途旅費規程に定める
日当	県外 5,000 円（業務を行う日に限る） 県内 5,000 円（1 日）、2,500 円（半日）	別途旅費規程に定める
食糧費	茶菓子代 1 回 1,000 円 弁当代 1 食あたり 700 円 必要に応じて上限 1,000 円	当日精算

別表 2

支 払 対 象 区 分			1 時間当り支払額(税込)
講 師 基 準	会 員	講演・講義・実習指導・実技指導	4,000 円
		シンポジウムにおけるシンポジスト	2,000 円
	会員外	日本作業療法士会員の会員以外による講演・講義・実習指導・実技指導	上限は 30,000 円
		専門作業療法士による講演・講義・実習指導・実技指導	12,000 円
		認定作業療法士による講演・講義・実習指導・実技指導	12,000 円
		作業療法士（免許取得後 15 年以上）による講演・講義・実習指導・実技指導	10,000 円
		作業療法士（免許取得後 15 年未満）による講演・講義・実習指導・実技指導	9,000 円

◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演
2. 相談への対応
3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書・議事録の作成
2. 定時社員総会の開催
 - (1)期日：平成 30 年 5 月 20 日（日）9：30～10：30
 - (2)会場：地域交流センター アゼリアホール（倉吉市山根 43）
 - (3)内容：平成 29 年度事業報告書承認
平成 29 年度事決算報告書承認及び監査報告
平成 30 年度事業計画及び予算
 - (4)その他：議長：西村 純一（清水病院）
書記：郷原 達之、川口 翔一（垣田病院）

◎ 選挙管理委員会

1. 新選挙管理委員への引き継ぎ
2. 委員会の開催
3. 選挙公示
4. 立候補の受付
5. 公報誌作成
6. 開票日の決定

◎ 生活行為向上マネジメント委員会

（平成 30 年 4 月より教育部傘下委員会として運営する）

1. 平成 30 年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請作業
2. 生活行為向上マネジメント委員会の開催
全県委員会（年 4 回）
業務内容
 - ①生活行為向上マネジメント研修会 企画・運営
 - ②生活行為向上マネジメント研修カリキュラムの管理
 - ③生活行為向上マネジメント広報活動
 - ④生活行為向上マネジメント指導者養成
3. 平成 30 年度 MTDLP 基礎研修・実践者研修会（予定）

会場	基礎研修	実践者研修
平成 30 年 8 月 5 日 アゼリアホール（倉吉市）	9：00～16：20	9：00～12：10
平成 30 年 12 月 16 日 アゼリアホール（倉吉市）	9：00～16：20	9：00～12：10

◎ 地域包括ケアシステム対策委員会

1. 研修会開催
 - (1)指導者育成研修会（2 回）
 - ①開催日：未定（東中部、西部で各 1 回）
 - ②会 場：未定
 - ③テーマ：未定
 - (2)地域包括ケアシステム大研修会（1 回）
 - ①開催日：未定
 - ②会 場：未定
 - ③テーマ：未定
2. 災害時対応マニュアルの作成協議
県内連絡・報告系統の作成
他県士会との災害時連携の確認（徳島県）

3. 地域包括ケアシステム協力体制の整備推進

地域活動に対する外部からの依頼に対応可能な協力施設・委員のリスト化
(渉外部と協力)

4. 担当者的会議

(1) 地区別会議 東部：6回 中部：6回 西部：6回

①委員メンバーの選出

全体責任者：永見 忠志（皆生温泉病院）

東部委員：原田 伸吾（デイサービスつむぎ）、長田 貴徳（尾崎病院）
下石 勝哉（鳥取生協病院）、村山 大佑（鳥取医療センター）
大淵 賢一（鳥取赤十字病院）、村上 聡（まさたみの郷）
川下 洋範（いなば幸朋苑）、佐野 和代（にしまち幸朋苑）
土肥 繁樹

中部委員：西村 純一（野島病院）、三浦 純、中村貴紀（三朝温泉病院）
河田 修（野島病院）、福井 由香里（ル・サンテリオン東郷）
幸田 真（藤井政雄記念病院）

西部委員：小椋 善文（米子市役所）、横野 洋子（仁風荘）
山本 香織（おしどり荘）、加藤 淳美（サンライズ名和）、
三上 将史（山陰労災病院）、田中 卓（養和病院）、
村瀬 良知（済生会境港総合病院）

②各地域の現状確認・情報共有・課題抽出と対応の検討、実施。

③研修会企画・運営

3. パンフレット管理

県・各地域包括支援センター・県士会員・その他各関係機関など状況に合わせ配布する。

◎ 認知症対策委員会

1. 認知症委員：16名

担当理事：田住 秀之（YMCA 米子）

西部：高梨 悠一、菊本 理恵（YMCA 米子）、門脇 達也、金山 雄気（養和病院）、赤井 理智子、足立 沙智子（西伯病院）、岡野 元明（デイサービス照陽の家）

東部：石丸 雅崇、横尾 和也（渡辺病院）、古土居 知恵（デイサービスつむぎ）

中部：山根 七恵、山本 麻未（倉吉病院）、松本 生（三朝温泉病院）、藤田 恵子（セラトピア）
遠藤 慎治（野島病院）

東中部地区研修運営協力：稲田 拓也（いなば幸朋苑）

2. 委員会開催（年 10 回）

(1) 研修会企画・運営・受講登録

(2) 認知症関連に携わる会員状況の把握

(3) 認知症に関連する県内事業協力・啓蒙

(4) 日本作業療法士協会との連携（認知症推進委員会、アップデート研修、認知症に関わる OT の実態調査）

3. 認知症研修会（全体研修 1 回、西部地区研修 1 回、東中部地区研修 1 回）／OT 協会認知症アップデート研修の開催

(1) 期 日：未定

(2) 会 場：未定

(3) 主な内容

①認知症研修会（年 3 回予定）

以下 6 つのテーマに基づいて研修内容を企画し、会員の研修受講状況の確認ならびに県士会からの派遣人材候補者として登録・リスト化していく

テーマ A：認知症の正しい理解

テーマ B：認知症・生活障害アセスメント

- テーマ C：認知症支援方法論
- テーマ D：家族・地域支援方法論
- テーマ E：認知症初期集中支援
- テーマ F：行政からの情報など

②OT 協会アップデート研修開催

H28 年度から各都道府県に認知症推進委員を設置し、OT 協会との連携体制の整備が図られている。
H29 年度から OT 協会が作成した研修要項に基づいて認知症アップデート研修を各県士会単位で開催している。地域・介護・医療のどの領域においても認知症に対応できる作業療法士を確保ならびに認知症に関する最新かつ最低限の知識を修得することを目的とする。

③事業協力・派遣

認知症施策に基づく各種事業への協力・派遣

とっとり方式認知症予防検証事業、認知症初期集中支援/チーム員会議、認知症施策検討委員会等

④鳥取県地域医療介護総合確保基金「チームケアリーダー育成研修事業」申請中

平成 30 年度予算書

				自 平成30年4月 1日
				至 平成31年3月31日
勘定科目				備 考
大科目	予算額	小科目	金額	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	2,400,000	年会費	2,400,000	5,000円×480名
研修会収入	750,000	第15回県学会	300,000	2,000円×150名
		現職者共通研修	80,000	1,000円×79名、500円×2名
		現職者選択研修	120,000	2,000円×40名、4,000円×10名
		MTDLP研修会	50,000	500円×100名
		地域包括ケア	65,000	500円×120名
		認知症	75,000	500円×150名
		テーマ別勉強会	60,000	2,000円×30名(中部精神科)
補助金等の収入	270,000	活動費	20,000	日本作業療法士協会
		協賛金	250,000	第15回県学会上映協賛
		助成金	0	
		賛助費	0	
雑収入	1,000	雑収入	1,000	預金利息
事業活動収入合計(A)	3,421,000			

勘定科目		予算額	小 科 目	備 考
中	科 目			
II	投資活動収支の部			
	1.投資活動収入			
	啓発グッズ等積立預金取崩収入	0		
	投資活動収入計 (D)	0		
	2.投資活動支出			
	啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000		郵便振替預金内にて管理
	投資活動支出計 (E)	50,000		
	投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 50,000		
III	予備費支出 (G)	200,000		
	当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 2,596,000		
	前 期 繰 越 収 支 差 額 (I)	2,334,042		
	次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	△ 261,958		

(単位:円)

2. 事業活動支出

(1) 管理運営部門

	予算額	中項目	金額	小 項 目	金額	備 考
事務局	734,000	事 務 費	126,600	事務用品費	57,600	ファイル、コピー用紙、名刺
				通 信 費	19,000	発送、切手代、振り込み手数料等
				封筒作成費	50,000	角2封筒1,000枚 長3封筒 1,000枚
		会 場 費	9,000	会 場 費	9,000	理事会6回 施設利用費 (1500円×6回)
		役 務 費	501,400	旅 費	501,400	OT総会受付手伝い 6,400円(東部@1,200円×2名、中部@500円×2名、西部@1,500円×2名)
						理事会6回分 123,000円 (東部@3,000円×3名×6回、中部@1,500円×4名×6回、西部@500円×11名×6回)
						平成30年度定時社員総会 15,000円(日当5,000円×1日×3名)
						47都道府県委員会306,000円
						日当 5,000円×2日×2名×3回
						オブザーバー宿泊費 10,000円×1泊×1名×3回
						オブザーバー交通費 飛行機(米子⇄羽田)往復70,000円×1名×3回 電車代(羽田⇄会場)往復2,000円×3回×1名
						県民税納税500円、市民税納税500円
						代表理事活動費 50,000円(交通費 3,000円×5回 宿泊費7,000円×5回)
		需 用 費	6,000	茶 菓 子 代	6,000	1,000円×6回
		税 金	81,000	法人県民税	21,000	法人県民税・年間(鳥取県)
				法人市民税	60,000	法人市民税・年間(米子市)
規約委員会	27,000	事 務 費	1,400	事務用品費	1,000	資料ファイル4冊
				通 信 費	400	
		役 務 費	20,000	旅 費	20,000	委員会交通費(3000円×4名、500円×16名)
		需 用 費	5,600	食 糧 費	5,600	700円×4名×2回
倫理委員会	2,000	事 務 費	2,000	事務用品費	1,000	ファイル、その他必要な事務用品
				通 信 費	1,000	切手、送料、電話料金
総会議事運営委員会	64,000	事 務 費	2,400	事務用品費	1,400	
				通 信 費	1,000	
		会 場 費	10,000	会 場 費	10,000	総会会場費(会場代、備品使用代)
		役 務 費	48,600	旅 費	16,500	委員会16,500円(500円×3名+2000円×2名)×3回分
					32,100	総会30,600円(2,000円×11名、500円×10名、1,700円×3名)
		需 要 費	3,000	茶 菓 子 代	3,000	1000円×3回分
選挙管理委員会	40,000	事 務 費	20,000	事務用品費	20,000	ファイル・付箋印刷用紙等
				通 信 費		※選挙開催時:別途計上(ゆうメール使用 37,800円)
				委 託 費		※選挙開催時:別途計上(9,180円)
		会 場 費	0	会 場 費		
		印 刷 費	0	印 刷 費		※選挙開催時:別途計上(70,000円予定)
		役 務 費	15,000	旅 費	15,000	定期委員会開催(500円×5名 6回) ※選挙開催時臨時招集時:別途計上
		需 要 費	5,000	食 糧 費		※選挙開催時:別途計上(選挙管理委員5名+立会人2名 700円×7名 4,900円予定)
				茶 菓 子 代	5,000	

(2)事業費支出								
渉外部	6,000	事 務 費	1,800	事務用品費	1300	資料ファイル		
				通 信 費	500			
		役 務 費	4,200	旅 費	4,200	県教育委員会訪問1,200円×1名 若草学園1000円(500円×2回) 鳥取県国民医療推進協議会総会500円 東部医療保険連络会 500 円 YMCA米子医療福祉専門学校入学式・卒業式交通費 1,000円(500円・500円)		
広報部	545,000	事 務 費	107,300	事務用品費	4,300	ニュース事務費3,000円、ホームページ事務費1,000円 など		
				通 信 費	63,000	資料取り寄せ費10,000円、 ホームページ通信費1,000円、 ニュース送料52,000円(ニュース4回×11,000円+推進月間8,000円)		
				委 託 費	40,000	作業所委託(郵送料含む)		
		印 刷 費	224,000	印 刷 費	224,000	ニュース印刷費144,000円(36,000円×4回) リーフレット印刷80,000円(2,000枚)		
		ホームページ費	53,000	管 理 費	53,000			
		役 務 費	29,900	旅 費	29,900	広報部担当者打合せ交通費27,900円:(1,500円×2名、500円×3名、1,200円×4名)×3回 交通費2,000円(公印受渡500円、総会交通費1,500円)		
		需 要 費	3,000	茶 菓 子 代	3,000	打合せお菓子代3,000円(1,000円×3回)		
		啓発キャンペーン	127,800	事 務 費	23,000	当日配布資料23,000円(2,000枚)		
				材 料 費	40,000	材料費40,000円(200名分)		
				会 場 費	5,000	備品等		
				役 務 費	39,300	事前打合せ:1,500円(500円×3名) 会議:27,900円(1,500円2名、500円×3名、1,200円×4名)×3回		
						当日スタッフ:9,900円(15名分:1,200円×2名、500円×12名、1,500円×1名)		
				需 用 費	15,500	弁当代:10,500円(700円×15名) 茶菓子代:3,000円(1,000円×3回)		
						当日協力者休憩用お菓子・飲み物:2,000円(15名分)		
				予 備 費	5,000			
事業部	880,000	事 務 費	24,000	事務用品費	22,000	事務用品費2,000円 総会後研修会資料印刷代20,000円(10円×10枚×200名分)		
				通 信 費	2,000			
		講 師 費	6,000	報 償 費	6,000	総会時間催研修会6,000円(6,000円×1名)		
		訪問リハ	280,000	旅 費	170,000	訪リハ地域リーダー育成:170,000円(旅費 東京⇄米子 交通費130,000円(65,000円×2名)、宿泊費20,000円(10,000円×2名)、日当20,000円(5,000円×2日×2名))		
					30,000	訪問リハビリテーションフォーラム:30,000円(宿泊費20,000円(10,000円×2名)、日当10,000円(5,000円×2名))		
		中国地区リーダー養成研修会	570,000	負 担 金	80,000	訪問リハビリテーション地域振興会		
				旅 費	470,000	リーダー研修470,000円:旅費 鳥取⇄広島、交通費270,000円(27,000円×10名)、宿泊費100,000円(10,000円×10名)、日当100,000円(5,000円×2日×10名)		
		負 担 金	100,000	中国支部(士会負担金)				
		学術部	1,146,000	事 務 費	4,600	事務用品費	3,100	
						通 信 費	1,500	
勉強会活動費	160,000			勉強会活動費	160,000	20,000円×8テーマ		
研修会支援費	30,000			研修会支援費	30,000	治療演習		
第15回県学会	916,900			講 師 費	149,500	特別講演 報償費 48000円 旅費 100,000円(交通費90,000円+宿泊費10,000円) 学術集会 座長旅費 1,500円(500円×3)		
				賃 貸 料	250,000	映画上映賃貸料		
				会 場 費	80,000	会場費 750.00円 会場関連費 5,000円		
				印刷製本費	260,000	ポスター・チラシ代 20000円 学会誌印刷製本 240,000円(送料込)		
				会 議 費	5,000	講師打合せ会場費 5,000円		
				事 務 費	50,000	事務費 5,000円 通信費 45,000円		
				役 務 費	65,000	委員旅費 50000円(500円×10名×10回) 当日役員旅費 15,000円(500円×10名×2回、500円×10名×1回)		
				需 用 費	47,400	講師等用茶菓子 8,000円 講師・座長昼食 4,000円(1,000円×4名 講師1、座長3) 役員4名昼食 4,000円(1,000円×3名 会長、学術、学会長、実長) 委員・担当昼食 19,600円(700円×20名) 委員茶菓子代 8,000円 役員・委員前日夕食 8,400円 (700円×12名、委員10名、会長、学術) 講師当日夕食 1,000円		
査読委員会	18,500			役 務 費	18,500	委員旅費 16,000円(500円×5名×3回、1500円×2名×3回、500円×2名×2回、)		
第16回県学会	16,000			役 務 費	16,000	委員旅費 16,000円(500円×10名×2回、500円×3名×1回、1,500円×3名×1回、)		

教育部	147,000	事 務 費	7,100	事務用品費	2,100	事務用ファイル
				通信運搬費	5,000	振込み料、切手
		講 師 費	114,900	報 償 費	96,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名) 事例報告指導48,000円(6,000円×8名)
				旅 費	18,900	現職者共通研修 11,500円(前期東部9,500円(3,000円×3名、500円×1名)、後期西部2,000円(500円×4)) 事例報告 7,400円(500円×10名、1,200円×2名)
		会 場 費	20,000	会 場 費	20,000	現職者共通研修 前期(東部)10,000円、後期(西部)10,000円
領域対策部	216,000	役 務 費	5,000	旅 費	5,000	現職者共通研修 前期東部2,000円(500円×4名)、後期西部2,000円(500円×4名)、現職選択研1,000円(500円×2名)
		事 務 費	2,000	事務用品費	1,000	
				通 信 費	1,000	
		現職者選択研修	214,000	講 師 費	104,000	報償費48,000 (県外講師)36,000円(県内講師)12,000円(6,000円×2名) 旅費56,000円 (県外講師)宿泊費10,000円、交通費40,000円(県内講師)6,000円(3,000円×2名)
				会 場 費	20,000	会場費
印刷製本費	20,000			コピー用紙代、印刷トナー代		
会 議 費	5,000			講師打合せ会場費		
事 務 費	1,000					
役 務 費	35,000			500円×10名×7回		
需 用 費	24,000			講師昼食 3,000円(1,000円×3名)		
				委員昼食 7,000円(700円×10名)		
				前日夕食 7,000円(700円×10名)		
				講師茶菓子・飲み物 7,000円		
		予 備 費	5,000			
財務部	320,000	事 務 費	65,700	ウィルス対策ソフト	14,000	PGアンチウィルスソフト更新代
				事務用品費	25,400	ポケットwifi20,000円
				通 信 費	21,300	wifi通信料10,800円(900円×12か月)
				利 用 料	5,000	会計ソフト年間利用料
		役 務 費	33,000	旅 費	33,000	監査5,000円(3,000円×1名、500円×4名)総会会費受付6,000円(1,500円×4名)現職者共通受付3,000円(1,500円×2名)県学会受付3,000円(1,500円×2名)財務部業務10,000円(500円×2名×10回)税理士相談時3,000円(500円×6回)納税3,000円(500円×6回)
		需 用 費	4,500	食 糧 費	3,500	700円×5名
				茶 菓 子 代	1,000	
		相 談 費	64,800	相 談 料	64,800	
		保 険 費	152,000	保 険 費	152,000	800円×190名(理事15名、監事2名、事務局10名、倫理委員会1名、総会議事運営委員会1名、渉外部5名、広報部40名、事業部6名、学術部30名、教育部15名、領域対策部10名、財務部4名、生活行為向上16名、地域包括20名、認知症15名)、手数料1,080円(108円×10回)
生活行為向上マネジメント委員会	576,000	事 務 費	4,700	事 務 費	3,700	ファイル、封筒等
				通 信 費	1,000	郵送代
		役 務 費	100,400	旅 費	100,400	全県委員会(1,500円×3名、500円×1名、1,200円×1名)×4回開催24,800円 3委員会(700円×2名)×4回開催5,600円 全国推進会議旅費70,000 円(交通費 50,000円、宿泊費10,000 円、日当5000円×2名)
		会 議 費	5,000	会 議 費	5,000	講師研修会打ち合わせ費
		需 用 費	21,900	食 糧 費	18,900	研修会昼食(700円×9名)×3回開催18,900円
				茶 菓 子 代	3,000	研修会茶菓子 (1,000×3回)
				事 務 費	6,400	
				講 師 費	172,000	
				会 場 費	24,000	
				印刷製本費	30,000	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業
		会 議 費	5,000			
役 務 費	176,600					
需 用 費	30,000					
地域包括ケア対策委員会	460,000	役務費	20,000	旅 費	20,000	全国推進委員会議旅費交通費20,000円(日当5,000円×2日×2名)
		需用費	74,000	食 糧 費	45,500	委員昼食代45,500円(指導者育成研修会14,700円、大研修会14,700円、委員夕食費16,100円) 委員茶菓子代(18,000円委員会3地区×6回×1,000円、講師用10,000円)
		地域包括ケアシステム研修	366,000	事 務 費	4,900	
				講 師 費	160,000	
				会 場 費	35,000	
印刷製本費	15,000			鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業		
		会 議 費	5,000			
役 務 費	93,200					
需 用 費	52,900					
認知症対策委員会	604,000	役 務 費	190,000	旅 費	190,000	認知症初期集中支援チーム員研修派遣旅費110,000円(交通費50,000円、宿泊費10,000円、参加費40,000円、日当5,000円×2日)×1名 OT協会認知症推進員会議派遣旅費70,000円(交通費50,000円、宿泊費10,000円、日当5,000円×2日)1名 OT協会認知症推進員会議派遣旅費10,000円(日当5,000円×2日)×1名
		需 用 費	88,000	食 糧 費	49,000	委員昼食24,500円(700円×35名)、委員夕食24,500円(700円×35名)
				茶 菓 子 代	39,000	委員茶菓子代9,000円、研修茶菓子30,000円
		チームケアリーダー育成研修事業	326,000	事 務 費	4,900	
				講 師 費	160,000	
				会 場 費	35,000	
				印刷製本費	15,000	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業
				会 議 費	5,000	
				役 務 費	71,000	
				需 用 費	35,100	
事業活動支出計 (B)		5,767,000				
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)		△ 2,346,000				

鳥取県作業療法士会

組 織 図

